



ブロードバンド無線ルータ
RTW65b

設定マニュアル

本機を使い始めるときにお読みください

本機お使いになる前に本書をよくお読みになり、正しく設置や設定を行ってください。
本書中の警告や注意を必ず守り、正しく安全にお使いください。

付属マニュアルのご案内

本機の機能を十分に活用していただくために、下記のマニュアルを用意致しました。目的にあわせてマニュアルをお選びください。

設定マニュアル(本書)



本機を使い始めるときに読むマニュアルです。

設置や設定のしかただけでなく、CATVやADSLなどのブロードバンドルータとしての基本的な使いかたについて説明しています。

活用マニュアル



本機の機能を活用するために読むマニュアルです。

ファイアウォールの設定やブロードバンドターミナルアダプタ(TA)としての使いかたについて、その解説と設定方法を説明しています。また、困ったときの対処方法についてもまとめて説明しています。

コマンドリファレンス(PDF形式)



コマンドを使って高度な設定を行いたいときに読むマニュアルです。本機のコンソールコマンドについて解説しています。

📀 マークのマニュアルは付属のCD-ROMにPDF形式で収録しており、お読みになるにはAcrobat Readerが必要です。先にCD-ROMのAcrobat Readerをインストールしてください。詳しくは別冊の「活用マニュアル」の「Acrobat Readerについて」(102ページ)をご覧ください。

- 本書の記載内容を一部または全部を無断で転載することを禁じます。
- 本書の記載内容は将来予告なく変更されることがあります。
- 本製品を使用した結果発生した情報の消失等の損失については、当社では責任を負いかねます。保証は本製品の物損の範囲に限ります。予めご了承ください。

重要なお知らせ

プロバイダ契約について

本機をルータとしてお使いになる前(または新たにプロバイダ契約を行う前)に、必ずルータ経由による複数パソコンの同時接続が、プロバイダによって禁止されていないかどうかご確認ください。プロバイダによっては、禁止もしくは別の契約が必要な場合があります。

禁止されている場合は、プロバイダと別途必要な契約を行うか、同時接続を禁止していない他のプロバイダと契約してください。

セキュリティ対策と本機のファイアウォール機能について

インターネットに接続すると、世界中のホームページを閲覧したり、電子メールで自由に情報を交換したりすることができ、とても便利です。しかし同時に、お使いのパソコンに対する不正アクセスの危険に、世界中からさらされることとなります。

特にインターネットに常時接続したり、サーバなどを公開したりする場合には、その危険性を理解して、必要なセキュリティ対策を行う必要があります。本機にはそのためのファイアウォール機能を装備していますが、不正アクセスの手段や抜け道(セキュリティホール)は、日夜新たに発見されており、それを防ぐ完璧な手段はありません。インターネット接続には、常に危険がともなうことをご理解いただくとともに、常に新しい情報を入手し、自己責任でセキュリティ対策を行うことを強くおすすめいたします。

無線LANの電波に関する注意

- 本製品に使用している無線装置は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、特定無線設備の認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本製品は日本国内でのみ使用できます。
- 心臓ペースメーカーを使用している人の近くで、本製品をご使用にならないでください。心臓ペースメーカーに電磁妨害を及ぼし、生命の危険があります。
- 医療機器の近くで本製品を使用しないでください。医療機器に電磁妨害を及ぼし、生命の危険があります。
- 電子レンジの近くで本製品を使用しないでください。電子レンジによって本製品の無線通信への電磁妨害が発生します。
- 本製品の無線装置は、電波法に基づく認証を受けていますので、以下の事項を行なうと法律で罰せられることがあります。
 - 本製品を分解/改造すること
 - 本製品の背面および無線カードに貼ってある証明ラベルをはがすこと

- この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)が運用されています。

本製品の無線チャンネルを工場出荷時以外に設定して使用する場合は、以下の事項に注意してください。但し、本製品の無線チャンネルが工場出荷状態の場合は、移動体識別用の無線局と電波干渉をすることはありません。

- この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
 - 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品の使用周波数を変更して、電波干渉を回避してください。
 - その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社ネットボランチャコールセンター(72ページ)へお問い合わせください。
- 本製品に内蔵されている以外の無線LANカードは使用しないでください。

使用周波数帯域	2.4 GHz
変調方式	DS-SS方式
想定干渉距離	40 m以下
周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

目次

付属マニュアルのご案内	2
重要なお知らせ	3
本書の表記について	7
安全にお使いいただくために	8
⚠ 警告	8
⚠ 注意	9
使用上のご注意	10

第1章 はじめに

ネットボランチRTW65bでできること	11
インターネットへの接続方法を選ぶ	13
CATV(ケーブルテレビ)で接続する	14
ADSLで接続する	15
フレッツ・ADSLで接続する	16
別売り品を用意する	17
LANカード/HUBを用意する	17
無線LANカードを用意する	18

第2章 ルータを準備する

回線を接続する	19
電源を接続する	21
パソコンを接続する	23
無線LANに接続する	26

第3章 パソコンを準備する

Webブラウザのバージョンを確認する	28
付属ソフトウェアをインストールする	29
Windows 95/98/Me/2000の場合	30
MacOSの場合	30
パソコンのネットワーク設定を変更する	31
手動でネットワーク設定を変更する	36
Windows 95/98/Meの場合	36
Windows 2000の場合	38
WindowsXPの場合	41
MacOSの場合	44
無線LANの設定を変更する	46

第4章 接続方法ごとに設定を変更する

インターネット接続設定をする前に	51
CATV/ADSL接続用に設定する	52
フレッツ・ADSL接続用に設定する	58

第5章 インターネットに接続する

インターネット接続を開始／終了する	65
インターネット接続を開始する(PPPoEの場合のみ)	65
インターネット接続を終了する(PPPoEの場合のみ)	65
本機の動作状態を確認する	66
ランプで確認する	66
「かんたん設定ページ」で確認する	67
ブザーを鳴らす条件を設定する	69
困ったときは	72

本書の表記について

マークの意味

本書では、本機を安全にお使いいただくため、守っていただきたい事項に次のマークを表示していますので、必ずお読みください。



警告

人体に危険を及ぼしたり、装置に大きな損害を与える可能性があることを示しています。必ず守ってください。



注意

機能停止を招いたり、各種データを消してしまう可能性があることを示しています。十分注意してください。

略称について

本書では、YAMAHA RTW65bのことを本機、Microsoft® Windows® をWindows、Microsoft® Windows 95® をWindows95、Microsoft® Windows 98® をWindows98、Microsoft® Windows 98 Second Edition® をWindows98SE、Microsoft® Windows NT® をWindowsNT、Microsoft® Windows 2000® をWindows2000、Microsoft® Windows Millennium Edition® をWindowsMe、Microsoft® Windows XP® をWindowsXP、10BASE-T(100BASE-TX)ケーブルのことをLANケーブルと記載しています。

設定例について

本書に記載されているIPアドレスやドメイン名、URLなどの設定例は、説明のためのものです。実際に設定するときは、必ずプロバイダから指定されたものをお使いください。

商標について

- イーサネットは富士ゼロックス社の登録商標です。
- Apple、Macintosh、MacOSは米国Apple社の登録商標および商標です。
- Microsoft、Windowsは米国Microsoft社の米国およびその他の国における登録商標です。
- Adobe、Acrobatは米国AdobeSystems社の登録商標です。
- Stac LZSは米国Hi/fn社の登録商標です。

安全にお使いいただくために

本機を安全にお使いいただくために、下記のご注意をよくお読みになり、必ず守ってお使いください。



- 本機は家庭および一般小規模オフィス向けの製品であり、人の生命や高額財産などを扱うような高度な信頼性を要求される分野に適応するようには設計されていません。
誤って本機を使用した結果、発生したあらゆる損失について、当社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機から発煙や異臭がするとき、内部に水分や薬品類が入ったとき、およびACアダプタや電源コードが発熱しているときは、直ちに電源スイッチを切ってACアダプタをコンセントから抜いてください。そのまま使用を続けると、火災や感電のおそれがあります。
- 濡れた手でACアダプタや電源コードを触らないでください。感電や故障のおそれがあります。
- 電源コードを傷付けたり、無理に曲げたり、引っ張ったりしないでください。火災や感電、故障、ショート、断線の原因となります。
- ACアダプタは必ず本機に付属のもの(P10V1.2A)をお使いください。他のACアダプタを使用すると、火災や感電、故障の原因となります。
- 付属のACアダプタは日本国内用AC100V(50/60Hz)の電源専用です。他の電源で使用すると、火災や感電、故障の原因となります。
- 安全のため、ACアダプタは容易に外すことのできるコンセントに接続してください。
- 本機を落下させたり、強い衝撃を与えたりしないでください。内部の部品が破損し、感電や火災、故障の原因となります。
- 本機を分解したり、改造したりしないでください。火災や感電、故障の原因となります。
- 本機の通風口を塞いだ状態で使用しないでください。火災や感電、故障の原因となります。
- 電源を入れたまま、USBケーブル以外のケーブル類を接続しないでください。感電や故障、本機および接続機器の破損の恐れがあります。
- USBポートに指や異物を入れないでください。感電や故障、ショートの原因となります。

 **注意**

- 直射日光や暖房器等の風が当たる場所、温度や湿度が高い場所には、置かないでください。故障や動作不良の原因となります。
- 極端に低温の場所や温度差が大きい場所、結露が発生しやすい場所で使用しないでください。故障や動作不良の原因となります。結露が発生した場合は、ACアダプタをコンセントから抜き、乾燥させるか、充分室温に慣らしてから使用してください。
- ほこりが多い場所や油煙が飛ぶ場所、腐蝕性ガスがかかる場所、磁界が強い場所に置かないでください。故障や動作不良の原因となります。
- 本機を他の機器と重ねて置かないでください。熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。
- 近くに雷が発生したときは、ACアダプタやケーブル類を取り外し、使用をお控えください。落雷によって火災や故障の原因となることがあります。
- 本機のアースコードは必ず接続してください。感電防止やノイズ防止の効果があります。アース接続は必ず、ACアダプタをコンセントにつなぐ前に行ってください。又、アース接続をはずす場合は、必ずACアダプタをコンセントから切り離してから行ってください。
- 本機を修理や移動等の理由により輸送する場合には、必ず本機の設定を保存してください。

使用上のご注意

- 無線LANを使用する場合は、金属製の壁や机、電子レンジ、他の無線LAN装置の近くへの設置を避けるようにしてください。また、遮蔽物があると、通信可能距離が短くなる場合があります。
- 本機の工場出荷状態では、無線LANによる本機へのアクセスが可能になっています。無線を使った第三者による回線の不正使用を防ぐため、WEP(暗号化機能)をONにして使用することを強くおすすめします。また、無線LANを使用しない場合は、不正アクセスを防ぐために「RTW65iかんたん設定ページへ行く前に」画面で、[無線LANを使用する]のチェックを外すか、または「無線設定」画面で無線モードを[オフ]にしてください。
- 本機のご使用にあたり、周囲の環境によっては電話、ラジオ、テレビなどに雑音が入る場合があります。この場合は本機の設置場所、向きを変えてみてください。
- 本機を譲渡する際は、マニュアル類も同時に譲渡してください。
- 本機を廃棄する場合には不燃物ゴミとして廃棄してください。または、お住まいの自治体の指示に従ってください。

ネットボランチRTW65bでできること

本機は、ブロードバンドルータ、ブロードバンドTA、無線LANアクセスポイントの機能をすべて内蔵した、多機能ルータです。CATV/ADSL接続と無線LANを利用したインターネット接続まで対応できます。

ブロードバンド対応

CATVやADSLなどのブロードバンド回線用モデムに接続できるWANポートを装備しています。

無線LAN&有線LAN(10BASE-T/100BASE-TX)両対応

IEEE802.11b準拠の11Mbit/s無線LANアクセスポイントを内蔵しているため、配線なしでインターネットやLANに接続できます。また、複数のRTW65bを使うことで、離れたLANどうしをつなげるブリッジ機能や、移動しても無線アクセスポイントを自動切り替えできるローミング機能にも対応しています。

ファイアウォール機能

静的/動的の2種類のフィルタによるパケットフィルタリング機能で、外部からの不正アクセスに対してセキュリティを強化できます。不正アクセスや攻撃を検出した場合にお知らせする、不正アクセス検知機能も搭載しています。

かんたん設定

付属のユーティリティソフトウェア「RTW65bパソコンセットアップ」でパソコンのネットワーク設定を自動的に行えます。本機は設定のためのホームページ「RTW65bかんたん設定ページ」を内蔵しているため、本機の基本的な設定はパソコンのWebブラウザで変更できます。

メール着信確認/メール着信転送機能

登録したメールアドレスへのメール着信を通知するメール着信確認機能を搭載しているため、パソコンの電源を入れなくても、メール着信の有無を確認できます。メール着信を確認するだけでなく、着信したメールを携帯電話やPHSの電子メールなどの他のメールアドレスに転送できる、メール着信転送機能も搭載しています。

ブロードバンドTA(ターミナルアダプタ)機能搭載

Windows98SE/Me/2000/XP、Mac OS9のパソコンから、本機をUSB接続のブロードバンドTA(PPPoE方式のみ対応)として使うことができます。手動で接続/切断を制御できるので、常時接続回線契約をしていますが、セキュリティ面で心配なときに便利です。

LANポートのないパソコンでも、USBポート経由でアクセス可能

USBポートに接続したパソコンをLANに接続できる擬似LAN機能を搭載しているため、LANボードを装着できないパソコンでも、USB経由でLANへアクセスできます。

充実のNetVolanteホームページ

NetVolanteシリーズのホームページ(<http://NetVolante.jp/>)では、NetVolanteシリーズの最新情報や機能の設定方法、FAQ、リビジョンアッププログラムなど、NetVolanteを活用するための情報を満載しています。本機の「かんたん設定ページ」画面左上の「ネットボランチホームページ」をクリックするだけでアクセスできます。

また、ヤマハルータRTシリーズホームページ(<http://www.rtpro.yamaha.co.jp/>)では、RTシリーズルータを使った高度な活用例や詳しい解説がご覧いただけます。

リビジョンアップによる最新機能の利用

ご購入後に新しい機能が追加されても、本機内蔵ソフトウェアのリビジョンアップ(バージョンアップ)を行うことで、最新の機能が利用できます。リビジョンアップを行うには、NetVolanteシリーズのホームページ(<http://NetVolante.jp/>)からリビジョンアップ・プログラムをパソコンにダウンロードして、パソコンでこのプログラムを実行するだけです。

インターネットへの接続方法を選ぶ

本機はさまざまな回線接続方法に対応しています。接続方法によって必要な回線契約やプロバイダ(インターネット接続業者)との接続契約が異なりますので、ご希望の接続方法の説明をご覧ください、必要な契約をしてください。

接続形態	回線契約	インターネット接続契約
CATVでインターネットへ常時接続する(14ページ)		CATV接続 →CATV業者と契約
ADSLでインターネットへ常時接続する(15ページ)	一般回線	ADSL接続 →プロバイダと契約
フレッツ・ADSLでインターネットへ常時接続する(16ページ)	一般回線	フレッツ・ADSL →NTTと契約 フレッツ・ADSL接続 →プロバイダと契約

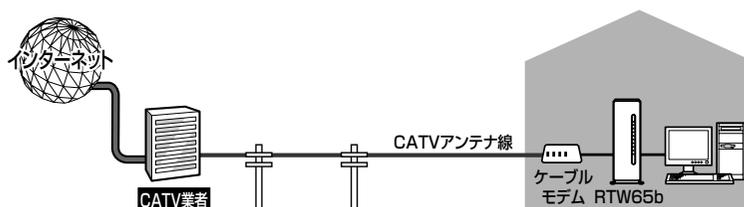
ご注意

本機をルータとしてお使いになる前(または新たにプロバイダ契約を行う前)に、必ずルータ経由による複数パソコンの同時接続が、プロバイダによって禁止されていないかどうかご確認ください。プロバイダによっては、禁止もしくは別の契約が必要な場合があります。禁止されている場合は、プロバイダと別途必要な契約を行うか、同時接続を禁止していない他のプロバイダと契約してください。

ADSL接続やフレッツ・ADSL接続で接続する場合は、一般回線(アナログ回線)が必要です

一般回線をお使いの場合は、そのまま利用できます。すでにISDN回線をお使いの場合は、一般回線に戻すか、または一般回線を別途増設する必要があります。また回線環境によっては、ADSL接続が利用できない場合もあります。利用の可否については、ADSL接続対応プロバイダにご相談の上、回線環境をご確認ください。

CATV（ケーブルテレビ）で接続する



CATV接続は、電話回線を使わずにCATVのアンテナ線でインターネットへ常時接続する方法です。お住まいの地域にインターネット接続サービスを提供しているCATV業者があり、以下の条件を満たしていれば利用できます。お申し込みについては、お住まいの地域のCATV業者にお問い合わせください。

ご注意

- 本機に接続するケーブルモデムを別途ご用意いただく必要があります。詳しくはCATV業者にお問い合わせください。
- CATVでインターネットに接続する場合、本機をCATVのアンテナ線に直接接続することはできません。必ずケーブルモデムに接続してください。

必要な条件

- お住まいの地域にCATV業者があり、インターネット接続サービスを提供していること。
- お住まいの建物のアンテナ設備が、CATVインターネット接続に対応できること。
- CATV業者がルータによる複数台パソコン接続を認めていること。

必要な契約

「ルータを使用した複数台接続可能なCATVインターネット接続」契約(CATV業者と契約)

設定を行うためには、CATV業者から通知される以下の情報が必要です

契約時に入手した接続情報の書類を確認してください。

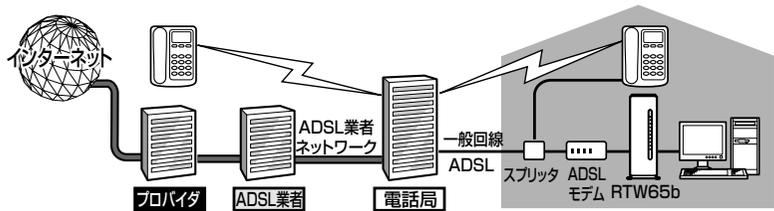
- ネームサーバアドレス(DNSサーバアドレス)
- IPアドレス
- ネットマスク

ご注意

CATV業者から通知されるIPアドレスが下記のプライベートIPアドレスの範囲に含まれる時は、ファイアウォールでのセキュリティフィルタの設定変更が必要な場合があります(57ページ)。

- 10.0.0.0～10.255.255.255
- 172.16.0.0～172.31.255.255
- 192.168.0.0～192.168.255.255

ADSLで接続する



ADSL接続は、一般回線の銅線を使い、ADSL業者のネットワークを経由して高速にインターネットへ常時接続する方法です。お住まいの地域の電話局がADSL接続に対応していて、以下の条件を満たしていれば利用できます。

ご注意

- 本機に接続するスプリッタやADSLモデムを別途ご用意いただく必要があります。詳しくはADSL接続対応プロバイダにお問い合わせください。
- ADSLの特性上、お住まいの地域によってはADSL接続が利用できない場合があります。詳しくはADSL接続対応プロバイダにお問い合わせください。
- ADSLでインターネットに接続する場合、本機をADSLの一般回線に直接接続することはできません。必ずADSLモデムに接続してください。

必要な条件

- お住まいの地域の電話局がADSL接続に対応していること。
- 電話局からお宅までの配線が、ADSL接続に対応していること（ADSL接続の可否は、プロバイダにご確認ください）。
- LAN接続のADSLモデムが使えること（USB接続のADSLモデムは不可）。
- プロバイダがルータによる複数台パソコン接続を認めていること。

必要な契約

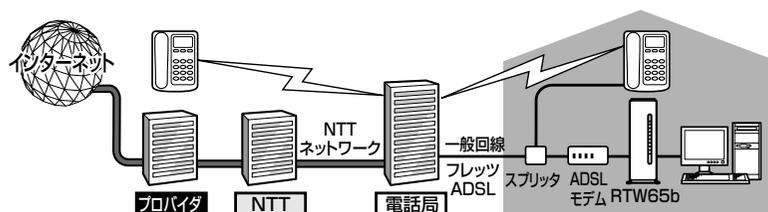
- 一般回線契約（13ページ）
- 「ADSL接続（LAN接続タイプ）」契約（ADSL接続対応のプロバイダと契約）

設定を行うためには、プロバイダから通知される以下の情報が必要です

契約時に入手した接続情報の書類を確認してください。

- ネームサーバアドレス（DNSサーバアドレス）
- ユーザID（PPPoE方式ADSL接続の場合のみ）
- パスワード（PPPoE方式ADSL接続の場合のみ）

フレッツ・ADSLで接続する



フレッツ・ADSL接続は、一般回線の銅線を使い、NTTのネットワークを経由して高速にインターネットへ常時接続する方法です。お住まいの地域の電話局がADSL接続に対応していて、以下の条件を満たしていれば利用できます。

ご注意

- 本機に接続するスプリッタやADSLモデムを別途ご用意いただく必要があります。詳しくはNTTにお問い合わせください。
- ADSLの特性上、お住まいの地域によってはADSL接続が利用できない場合があります。詳しくはNTTにお問い合わせください。
- ADSLでインターネットに接続する場合、本機をADSLの一般回線に直接接続することはできません。必ずADSLモデムに接続してください。

必要な条件

- お住まいの地域の電話局がADSL接続に対応していること。
- 電話局からお宅までの配線が、ADSL接続に対応していること(ADSL接続の可否は、NTTにご確認ください)。
- LAN接続のADSLモデムが使えること(USB接続のADSLモデムは不可)。
- プロバイダがルータによる複数台パソコン接続を認めていること。

必要な契約

- 一般回線契約(13ページ)
- 「フレッツ・ADSL」契約(NTTと契約)
- 「フレッツ・ADSL接続(LAN接続タイプ)」契約(フレッツ・ADSL接続対応のプロバイダと契約)

設定を行うためには、プロバイダから通知される以下の情報が必要です
契約時に入手した接続情報の書類を確認してください。

- ネームサーバアドレス(DNSサーバアドレス)
- ユーザID
- パスワード

別売り品を用意する

LANカード／HUBを用意する

本機をLAN接続で使う場合は、パソコンにLANポート(10BASE-Tまたは100BASE-TXポート)が必要です。お使いのパソコンにLANポートがない場合は、本機の設置を始める前に、10BASE-T(100BASE-TX)対応のLANボードまたはLANカード(PCカード)を取り付けて、LANポートを増設してください。本機を設置する前に、あらかじめLANボードやLANカードの取扱説明書をご覧になり、正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、あらかじめLANボードやLANカードの問題を解決してから、本機を設置してください。

複数のパソコンを本機にLANケーブルで接続したいときは
市販の10BASE-T(100BASE-TX)対応のHUBが必要になります。

デスクトップ型やタワー型パソコンの場合

デスクトップ型やタワー型パソコンの場合は、拡張スロットにLANボードを取り付けます。拡張スロットには、PCIやISAなどの種類があるので、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧の上、対応したLANボードを取り付けてください。

購入時のチェックポイント

- 対応OS(Windows95/98/Me/2000/XP、MacOSなど)
- スロットの種類(PCI、ISA、Cバス、Nubusなど)
- コネクタの種類(10BASE-Tまたは10BASE-T/100BASE-TXのもの)

ノート型パソコンの場合

ノート型パソコンの場合は、PCカードスロットにLANカードを取り付けます。PCカードスロットの規格や添付ソフトに種類があるので、お使いのパソコンに対応したPCカード型LANカードを取り付けてください。

購入時のチェックポイント

- 対応OS(Windows95/98/Me/2000/XP、MacOSなど)
- PCカードスロットの種類(CardBus、PCMCIA Type I/Type II/Type III)
- コネクタの種類(10BASE-Tまたは10BASE-T/100BASE-TXのもの)

無線LANカードを用意する

本機はIEEE802.11b準拠の11Mbit/s無線LANアクセスポイントを内蔵しています。

対応した11Mbit/s無線LANカード(またはボード／アダプタ)をパソコンに取り付けると、LANケーブルを接続することなく、ワイヤレスでブロードバンドルータやLANを利用できるようになります。

無線LANカード(またはボード／アダプタ)は、下記の製品を推奨しています。その他の製品の動作確認情報については、NetVolanteホームページ(<http://NetVolante.jp/>)をご覧ください。

デスクトップ型やタワー型パソコンの場合

デスクトップ型やタワー型パソコンの場合は、拡張スロットに無線LANボードを取り付けるか、USBタイプの無線LANアダプタをUSB端子に接続します。拡張スロットには、PCIやISAなどの種類があるので、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧くださいの上、対応した無線LANボードを取り付けてください。

ノート型パソコンの場合

ノート型パソコンの場合は、PCカードスロットに無線LANカードを取り付けます。PCスロットの規格や添付ソフトの種類があるので、お使いのパソコンに対応した無線LANカードを取り付けてください。

推奨無線LANカード(またはボード／アダプタ)

無線LANカード(またはボード／アダプタ)をお求めの際は、以下の製品かどうか確認してください。

- Wi-Fi準拠
- IEEE802.11b準拠
- 対応製品の最新情報については、ネットボランチホームページ(<http://NetVolante.jp/>)をご覧ください。

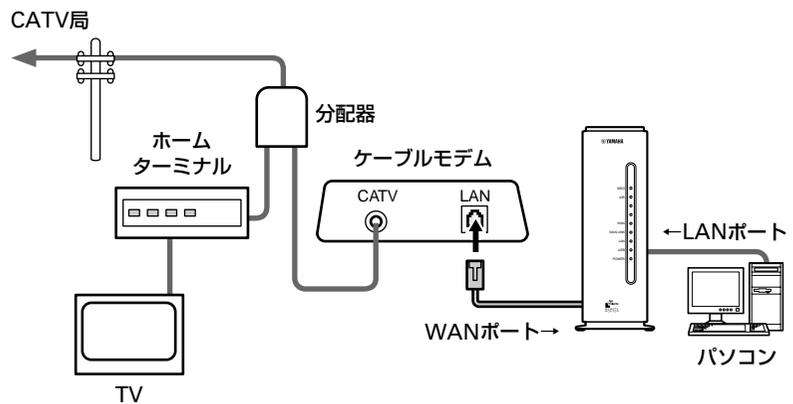
回線を接続する

本機のWANポートに以下の方法でケーブルモデムまたはADSLモデムを接続します。ケーブルモデムやADSLモデムの設置は、ご自分で設置する場合と、業者が行う場合とがあります。各業者の指示に従って設置してください。

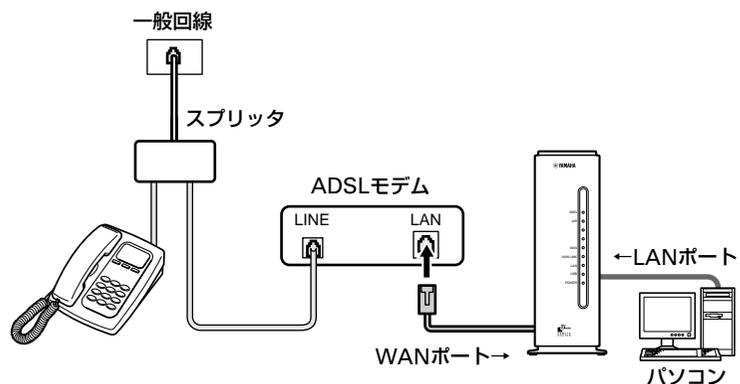
ご注意

CATVまたはADSLでインターネットに接続する場合、本機をCATVのアンテナ線や、ADSL用の一般回線に直接接続することはできません。必ず、ケーブルモデム（CATV回線）またはADSLモデム（ADSL回線）に接続してください。

CATV接続の場合



ADSL接続/フレッツ・ADSL接続の場合



接続する

必要なもの

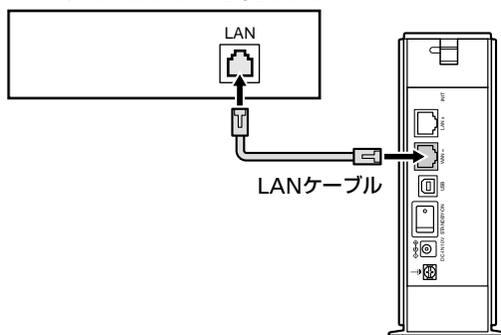
- **LANケーブル**:本機のWANポートとケーブルモデム／ADSLモデムを接続します。ケーブルモデムやADSLモデムの種類に合わせて、ストレートタイプまたはクロスタイプのLANケーブルをご用意ください(ケーブルモデムやADSLモデムに付属している場合もあります)。

ご注意

ケーブルモデム／ADSLモデムとパソコンをストレートケーブルで接続するように指定されている場合は、ケーブルモデム／ADSLモデムと本機のWANポートもストレートケーブルで接続します。逆に、ケーブルモデム／ADSLモデムとパソコンをクロスケーブルで接続するように指示されている場合は、クロスケーブルで本機と接続してください。

ケーブルモデムまたはADSLモデムのLANポートと、本機のWANポートをLANケーブルで接続する。

ケーブルモデムまたはADSLモデム



電源を接続する

アースコードを接続してから、付属のACアダプタ(P10V1.2A)をコンセントに接続します。

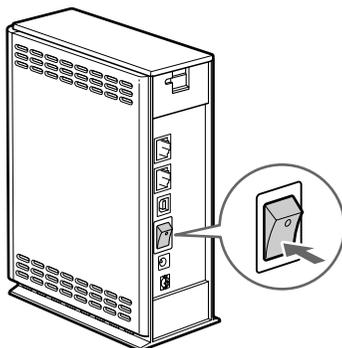
ご注意

- ACアダプタは、必ず本機に付属のものを使用してください。他のACアダプタを使用すると、火災や感電、故障の原因になります。
- 本機のアースコードは必ず接続してください。感電防止やノイズ防止の効果があります。
- アースコードは必ずコンセントのアース端子に接続してください。ガス管などには絶対に接続しないでください。

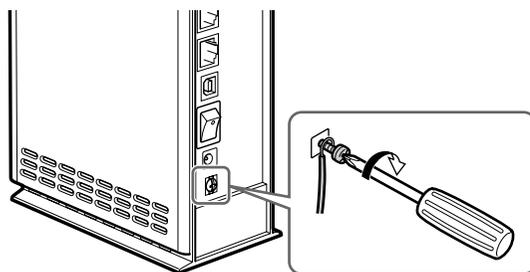
必要なもの

- **アースコード**: 設置場所に合わせて市販のアースコードをご用意ください。
- **ACアダプタ**: 本機に付属のACアダプタ(P10V1.2A)をご使用ください。

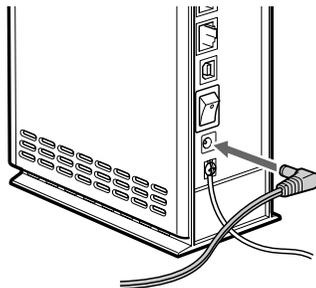
- 1** STANDBY-ON(電源)スイッチが「STANDBY」(スタンバイ)になっていることを確かめる。



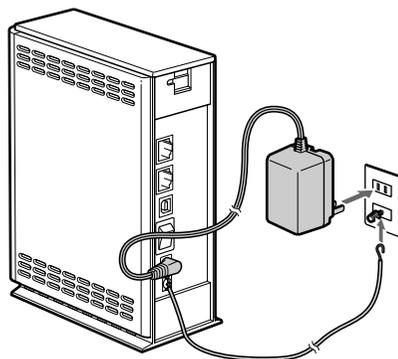
- 2** アース端子のネジを⊕ドライバーで少しゆるめてから、アースコードをアース端子に接続して固定する。



-
- 3** 付属のACアダプタ(P10V1.2A)のコネクタを本機の電源コネクタに接続する。



-
- 4** アースコードをアース端子へ、付属のACアダプタをコンセントに接続する。



ACアダプタを取りはずす際は

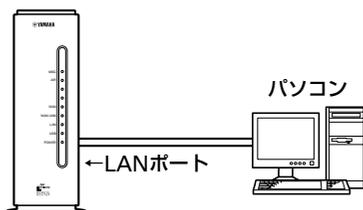
先にACアダプタを取りはずしてから、アースコードを取りはずしてください。

パソコンを接続する

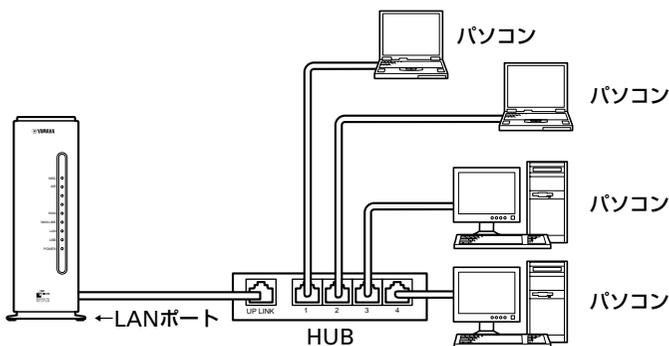
パソコンのLANポートに接続する場合や既存のLANに接続する場合は、本機のLANポートに接続します。本機のLANポートには、パソコンを1台だけ直接接続できます。複数のパソコンを接続したいときや、既存のLANに追加したい場合は、市販のHUBをお使いください。

また、無線LANを利用すれば、HUBを利用することなく、複数のパソコンを接続できます。詳しくは「無線LANに接続する」(26ページ)をご覧ください。

パソコンを本機に直接接続する場合



HUBを利用して複数のパソコンを接続する場合の例



ご注意

DHCPサーバを使用しているLANに本機を接続する場合は、下記の設定が必要です。設定を行わないとLANの通信ができなくなります。

- 本機のDHCP機能: OFF
- 本機のIPアドレス: 指定されたIPアドレスに設定するか、またはDHCPクライアントとして設定する。

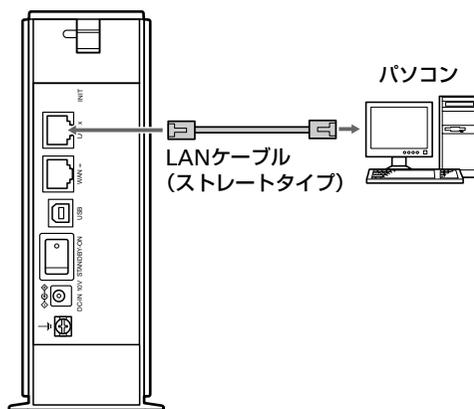
必要なもの

- LANケーブル: パソコンの台数や距離に合わせて10BASE-T/100BASE-TX対応のLANケーブル(ストレートタイプまたはクロスタイプ)をご用意ください。本機にはストレートタイプのケーブル(3m)が1本付属しています。
- HUB: 複数のパソコンを接続する場合は、パソコンの台数に合ったポート数を備えた、10BASE-T/100BASE-TX対応のHUB(またはスイッチングHUBなど)をご用意ください。

- 1 本機の電源を切る。
- 2 パソコンのLANポートやHUBのポートと本機のLANポートを、LANケーブルで接続する。

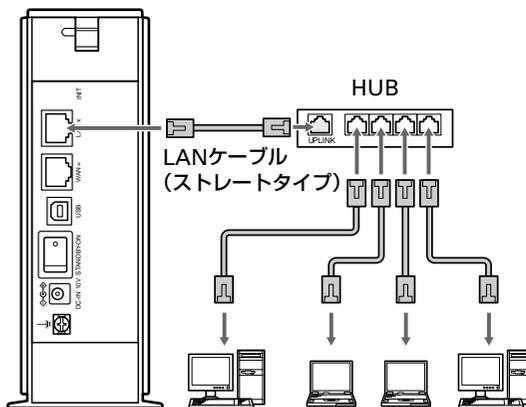
パソコンを本機に直接接続する例

本機のLANポートに接続します。



複数のパソコンを接続する例

HUBの場合は、UPLINK(カスケード)ポートを接続します。



HUBにUPLINK(カスケード)ポートがない場合や、UPLINKポートが空いていない場合は

HUBのポートと本機のLANポートを、市販のクロスタイプのLANケーブルで接続してください。

ご注意

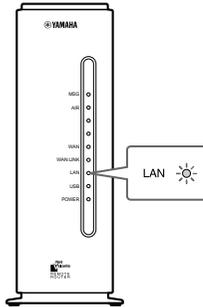
HUBは10BASE-Tの場合4段(階層)まで、10/100BASE-TX混在の場合2段(階層)までしかUPLINK(カスケード)接続できません。ポート数の多いHUBやスイッチングHUBなどを使用して、階層数が規定以内になるように設置してください。

3 本機の電源を入れる。

ランプが何回か点滅した後、POWERランプが点灯します。

4 パソコンやHUBの電源を入れ、本機のLANランプが点灯または点滅することを確認する。

ケーブルモデムまたはADSLモデムをWANポートに接続している場合は、WANランプも点灯または点滅します。



LANランプが点灯または点滅しない場合は

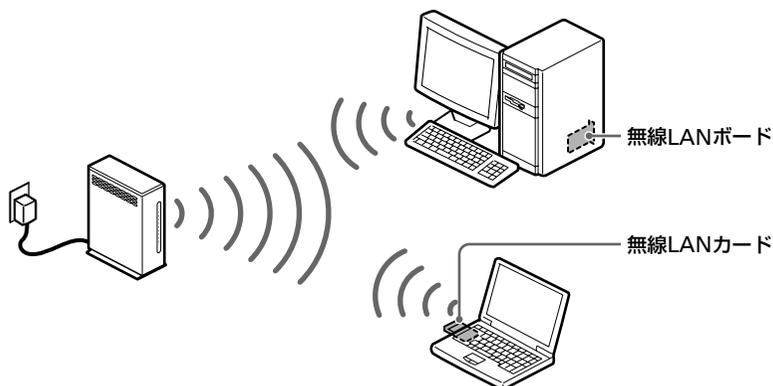
LANケーブルが正しく接続されているかどうか、パソコンやHUBの電源が入っているかどうか確認してください。

ご注意

- 本機に接続したパソコンやHUBの電源がすべて入っていないときは、LANランプは点灯または点滅しません。
- Macintoshのみを本機に接続している場合、パソコンの設定によってはLANランプが点灯または点滅しない場合があります。その場合は、「第3章 パソコンを準備する」(28ページ)の説明にしたがって必要な設定をパソコンで行ってから、もう1度LANランプを確認してください。

無線LANに接続する

本機に内蔵の無線LANには、ノートパソコンやデスクトップパソコン、複数のRTW65bを接続できます。



ご注意

- 本機の工場出荷状態では、無線LANによる本機へのアクセスが可能になっています。無線LANを使用しない場合は、不正アクセスを防ぐために無線モードをオフにしてください。
- WEP(暗号化機能)を使用しないと、無線LANの部外者が勝手に接続できる状態になります。不正侵入や盗聴、妨害、データの消失、破壊などにつながる危険があるだけでなく、無線LAN経由で接続回線を使用されるおそれがあります。そのため、WEPをご使用になることを強くおすすめいたします。
- 本機の無線LANに多くのパソコンを接続すると、通信速度が著しく低下します。無線LANは32台以内で構築してください(同時使用可能な無線端末数は、使用環境により減る場合があります)。
- 複数のRTW65bを接続する場合の設置方法については、別冊の「活用マニュアル」の「無線で複数のRTW65bを接続する」(56ページ)をご覧ください。
- パソコンを無線LANで接続するときは、遮蔽物がなく見通しの良い場所で、あらかじめ接続状態の確認してください。
- 使用中に動作が不安定になる場合は、本機やパソコンの設置場所、設置方向を変えてみてください。

必要なもの

- 無線LANカード(またはボード/アダプタ):お使いのパソコンに対応したIEEE802.11b準拠の11Mbit/s無線LANカード(またはボード、アダプタ)と、付属のソフトウェアをご用意ください。

1 本体底面のシールに書かれているLAN側のMACアドレスから、本機のESS-IDを確認する。

本機のESS-IDの初期値は、本機のMACアドレス下6桁の16進数(アルファベットはすべて大文字)に設定されています。



MACアドレス下6桁の16進数

2 パソコンに無線LANカード(またはボード/アダプタ)を取り付けてから、必要なドライバや設定ソフトウェアをインストールする。

詳しくは、無線LANカード(またはボード/アダプタ)の取扱説明書をご覧ください。

3 取り付けた無線LANカード(またはボード/アダプタ)が正しく動作するかどうか確認する。

問題がある場合は、無線LANカード(またはボード/アダプタ)の取扱説明書の説明にしたがって、問題を解決してください。

4 無線LANカード(またはボード/アダプタ)の設定ソフトウェアを起動して、以下の項目を設定する。

本機の設定をまだ行っていない場合(工場出荷時)

- 通信モード: インフラストラクチャモード
- ESS-ID: 手順1で確認したESS-ID
- WEP: オフ

🔦 ヒント

本機側の設定をすでに行った場合は、本機の設定に合わせてWEPおよびWEPキーを設定します。

📌 ご注意

- ESS-ID、WEPの設定が両方とも合っていないと、無線LANで本機とパソコンを接続できません。本機に設定した値を正確にメモして、無線接続するすべてのパソコンに必ず同じ値を設定してください。ESS-ID、WEPについては、「無線LANの設定を変更する」(46ページ)をご覧ください。
- ESS-ID、WEP設定を変更している途中は、一時的に本機とパソコンが接続できない状態になります。本機や各パソコンの設定変更がすべて完了すれば、接続できる状態になります。
- 無線LANカード(またはボード/アダプタ)側のパソコンに「アクセスポイントが見つかりません」などの表示が出る場合がありますが、本機との接続の確認や通信速度の確認は、実際に通信をして行ってください。

無線LANの準備が終わったら

次ページ以降の説明にしたがって、設定を続けてください。

また、無線LANのセキュリティを設定するために、「無線LANの設定を変更する」(46ページ)の操作も行ってください。

Webブラウザのバージョンを確認する

本機の設定を変更するには、パソコン上のMicrosoft Internet ExplorerやNetscape NavigatorなどのWebブラウザを使用します(お使いのパソコンに標準インストールされているものを使用できます)。Webブラウザがインストールされていない場合は、設定操作を始める前にインストールしてください。

Windows95/98/Me/2000/XPの場合

本機の設定を行うには、Internet Explorer 4.0以降またはNetscape Navigator 3.0以降(6.0以降を除く)のWebブラウザが必要です。Windows95以降にはInternet Explorerが標準でインストールされているため、新たにWebブラウザをインストールする必要はありません。もし、インストールされていない場合は、別途インストールしてください。

ご注意

お使いのWindows95のバージョンによっては、インストールされているWebブラウザがInternet Explorer 3.0の場合があります。この場合は、Webブラウザをバージョンアップしてください。

MacOSの場合

本機の設定を行うには、Internet Explorer 4.0以降またはNetscape Navigator 3.0以降(6.0を除く)のWebブラウザが必要です。MacOS8.1以降には、Internet Explorerが標準でインストールされているため、新たにWebブラウザをインストールする必要はありません。もし、インストールされていない場合は、別途インストールしてください。

付属ソフトウェアをインストールする

本機には、パソコン側で本機に必要な設定をまとめて行うために、「RTW65b パソコンセットアップ」ソフトウェアが付属CD-ROMに収録されています。

「RTW65bパソコンセットアップ」ソフトウェアは簡単に設定や操作を行うためのものであり、本機を使用する上で必須のものではありません。ただし、本書ではこれらのソフトウェアを使って、パソコンの設定の方法を説明しています。

ネットワーク機器の操作や設定に慣れていない方は、次ページの説明にしたがって、設定操作の前にこれらのソフトウェアをインストールすることをおすすめいたします。

ご注意

- インストールの途中で再起動が必要になる場合がありますので、インストールを始める前に、他のソフトウェアをすべて終了してください。
- Windows 2000/XPの場合は、管理者(Administrators)でログインしてから、インストールを行ってください。

Windows 95/98/Me/2000/XPの場合

付属CD-ROMに収録されているユーティリティソフトウェア「RTW65b/パソコンセットアップ」は、Windows 95/98/Me/2000/XP用のソフトウェアです。設定の前にインストールしてください。

ご注意

すでに古いバージョンのユーティリティソフトウェアがインストールされている場合は、コントロールパネルの[アプリケーションの追加と削除]で削除(アンインストール)してください。

- 1 付属CD-ROMをパソコンにセットしてから、[InstPCSU]アイコンをダブルクリックする。



- 2 画面の指示に従って操作する。

ソフトウェアのコピーと、スタートメニューへの登録が行われます。

- 3 インストールが終わったら、[完了]をクリックする。

これで、「RTW65b/パソコンセットアップ」のインストールは完了です。

MacOSの場合

付属のCD-ROMからRTW65b/パソコンセットアップを直接起動できるため、パソコンへのインストール作業は不要です。

ご注意

ユーティリティソフトウェア「RTW65b/パソコンセットアップ」を使用するには、以下の環境が必要です。

- PowerMacintosh
- MacOS8.1以降 (MacOS X(Classic環境を含む)には対応していません。)
- OpenTransport1.2以降

パソコンのネットワーク設定を変更する

LANケーブルまたは無線LANで接続したパソコンからインターネットに接続するには、まずパソコンのネットワーク設定を変更する必要があります。インストールしたRTW65bパソコンセットアップのメッセージに従って操作してください。USBケーブルで接続する場合は、別冊の「活用マニュアル」の「第4章 USB接続機能を活用する」(28ページ)をご覧ください。

複数のパソコンを接続する場合は、すべてのパソコンで同様に設定を行ってください。

ご注意

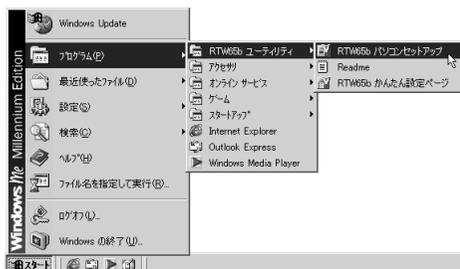
- 以下の説明は、Windows 95/98/Me/2000/XPおよびMacOS8.1以降(Mac OS Xを除く)の環境で、RTW65bパソコンセットアップを使って設定するためのものです。上記以外の環境でお使いの場合は、同等の設定を手動で行ってください(36ページ)。
- プロバイダ契約を解除または変更した時は、必ず本機の接続設定と、パソコンのダイヤルアップネットワーク設定(ブロードバンドTA接続利用時)の両方を削除または再設定してください。
- 設定を始める前に、LANボードやLANカードが正しく動作していることを確認してください。正しく動作していないと、設定が行えません。正しく動作していない場合は、先にボードやカードの問題を解決してから設定を行ってください。
- 設定を始める前に、他のソフトウェアをすべて終了してください。設定の途中で再起動が必要になるため、作業中のデータが消失することがあります。
- 接続の設定を行うと、意図しない発信を防ぐためにいくつかのフィルタが自動的に設定されます。
- お使いのパソコンの仕様やソフトウェアの状態によっては、RTW65bパソコンセットアップが正しく動作しないことがあります。その場合は、手動でネットワークの設定を変更してください(36ページ)。

ここではWindows MeとInternet Explorer 5.5の画面を例に説明します。他の環境の場合は画面表示が多少異なりますが、操作は同じです。

1 RTW65bパソコンセットアップを起動する。

Windows95/98/Me/2000/XPの場合

[スタート] ボタンをクリックして、[プログラム] - [RTW65bユーティリティ] - [RTW65bパソコンセットアップ] をクリックする。



Macintoshの場合

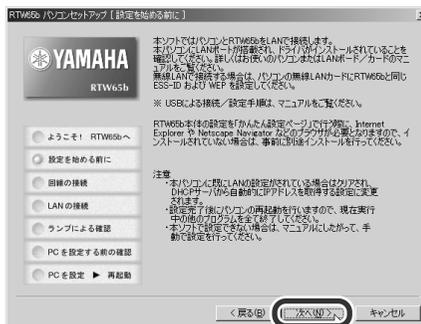
付属のCD-ROMをパソコンにセットしてから、[ユーティリティ]—[RTW65bパソコンセットアップ]フォルダ内の、[パソコンセットアップ]アイコンをダブルクリックする。



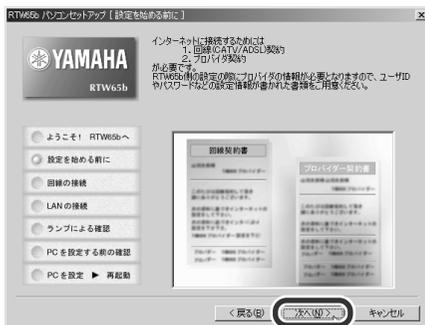
2 [次へ]をクリックする。



3 メッセージの内容を確認してから、[次へ]をクリックする。



4 プロバイダ登録に必要な情報が揃っているかを確認してから、[次へ]をクリックする。



5 本機のWANポートにADSLモデムやケーブルモデムからのケーブルが接続されていることを確認してから、[次へ]をクリックする。問題がある場合は[キャンセル]をクリックして、問題を解決してから操作をはじめからやり直してください。詳しくは、「回線を接続する」(19ページ)をご覧ください。

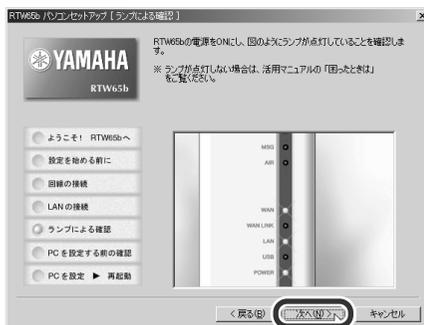


6 本機のLANポートにLANケーブルが接続されていることを確認してから、[次へ]をクリックする。

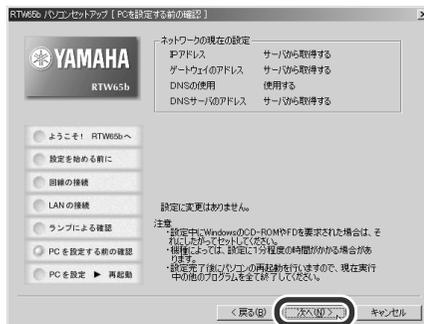
無線LANで接続する場合も、[次へ]をクリックします。問題がある場合は[キャンセル]をクリックして、問題を解決してから操作をはじめからやり直してください。詳しくは、「パソコンを接続する」(23ページ)をご覧ください。



- 7** 本機の電源やランプの表示を確認してから、[次へ]をクリックする。
問題がある場合は[キャンセル]をクリックして、問題を解決してから操作をはじめからやり直してください。



- 8** 設定内容を確認してから、[次へ]をクリックする。
パソコンのネットワーク設定が自動的に行われます。お使いのパソコンの環境によっては、OS(Windows、MacOS)のインストールCD-ROMが必要になる場合があります。



お使いのパソコンの環境によっては、ネットワーク設定の完了後に再起動のメッセージが表示されます。再起動のメッセージが表示されない場合は、そのまま手順11へ進んでください。

- 9** 再起動のメッセージが表示された場合は、[再起動]をクリックする。



パソコンが再起動します。

10 「RTW65bと接続」画面が表示されたら、[開く]をクリックする。



Webブラウザが自動的に起動して、「RTW65bかんたん設定ページへ行く前に」画面が表示されたら、パソコンの設定は完了です。他のパソコンも同様に設定してください。

2台目以降のパソコンを設定している場合は

「RTW65bと接続」が表示されたら、[中止]をクリックします。

引き続き本機の設定を行う場合は

51ページ以降の説明をご覧ください。

手動でネットワーク設定を変更する

付属のRTW65bパソコンセットアップが正しく動作しない場合は、手動でネットワーク機能の設定を変更する必要があります。ネットワーク機能の設定は、LANに接続されているすべてのパソコンで行ってください。

Windows 95/98/Meの場合

Windows 95/98/Meの場合は、次の手順でネットワーク設定を変更します。LANボードやLANカードが装着されていないときは、あらかじめLANボードやLANカードを装着して、正しく動作するかどうかご確認ください。

ご注意

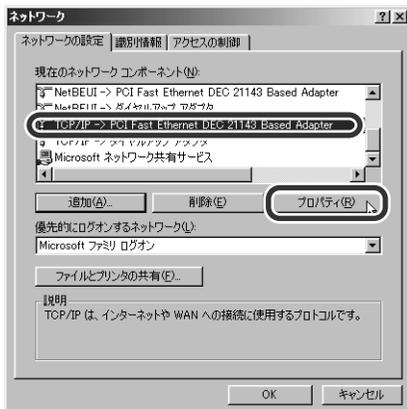
- プロバイダ契約を解除または変更した時は、必ず本機の接続設定と、パソコンのダイヤルアップネットワーク設定(ブロードバンドTA接続利用時)の両方を削除または再設定してください。
- 設定を始める前にLANボードやLANカードが正しく動作していることを確認してください。正しく動作していないと、設定が行えません。正しく動作していない場合は、あらかじめボードやカードの問題を解決してから設定を行ってください。

- 1 [スタート]ボタンをクリックして、[設定]－[コントロールパネル]をクリックする。
- 2 [ネットワーク]アイコンをダブルクリックして、リストに「TCP/IP->(ネットワークボード名)」が表示されているかどうか確認する。

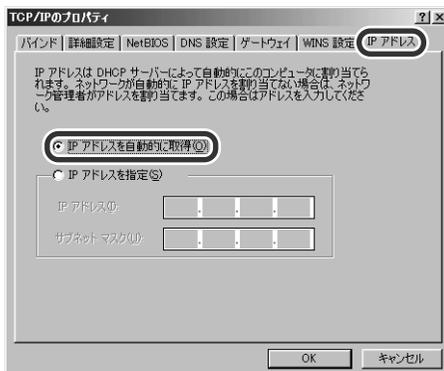


「TCP/IP->(ネットワークボード名)」が表示されていない場合は [追加] をクリックして、[プロトコル]の追加からMicrosoftの[TCP/IP] をクリックして、追加してください。

-
- 3** [TCP/IP->(ネットワークボード名)]を選んでから、[プロパティ]をクリックする。



-
- 4** [IPアドレス]タブをクリックしてから[IPアドレスを自動的に取得]を選び、[OK]をクリックする。



-
- 5** [OK]をクリックする。

設定を変更した場合は、パソコンを再起動してください。

Windows 2000の場合

Windows2000の場合は、次の手順でネットワーク機能の設定を変更します。LANボードやLANカードが装着されていないときは、先にLANボードやLANカードを装着して、正しく動作するかどうかご確認ください。

Windows2000のネットワーク設定を行うには、管理者 (Administrators) グループの権限を持つユーザとしてログインする必要があります。

ご注意

- プロバイダ契約を解除または変更した時は、必ず本機の接続設定と、パソコンのダイヤルアップネットワーク設定(ブロードバンドTA接続利用時)の両方を削除または再設定してください。
- 設定を始める前にLANボードやLANカードが正しく動作していることを確認してください。正しく動作していないと、設定が行えません。正しく動作していない場合は、先にボードやカードの問題を解決してから設定を行ってください。

1 [スタート] ボタンをクリックして、[設定] – [コントロールパネル] をクリックする。

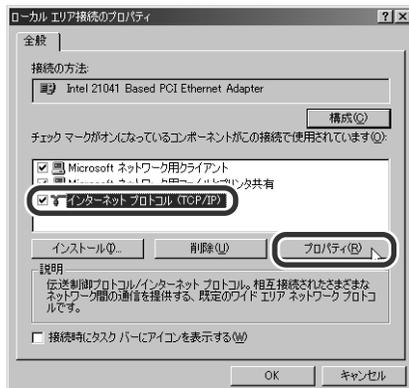
2 [ネットワークとダイヤルアップ接続] をダブルクリックする。



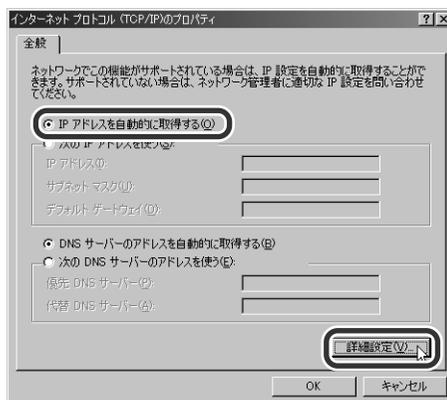
3 本機を接続しているネットワークボード名の[ローカルエリア接続] をクリックして選んでから、[ファイル]メニューから[プロパティ]を選ぶ。



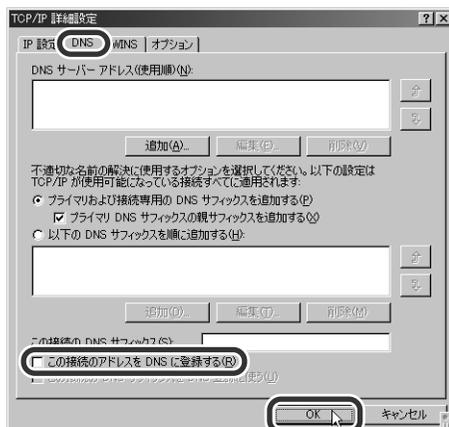
-
- 4** リストの[インターネットプロトコル(TCP/IP)]を選んでから、[プロパティ]をクリックする。



-
- 5** [IPアドレスを自動的に取得する]を選んでから、[詳細設定]をクリックする。



- 6** [DNS]タブをクリックしてから[この接続のアドレスをDNSに登録する]のチェックを外し、[OK]をクリックする。



[TCP/IP詳細設定]画面が閉じます。

- 7** [OK]を何回かクリックして、「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」画面と「ローカルエリア接続のプロパティ」画面を閉じる。

設定を変更した場合は、パソコンを再起動します。

WindowsXPの場合

WindowsXPの場合は、次の手順でネットワーク機能の設定を変更します。LANボードやLANカードが装着されていないときは、先にLANボードやLANカードを装着して、正しく動作するかどうかご確認ください。

WindowsXPのネットワーク設定を行うには、管理者(Administrators)グループの権限を持つユーザとしてログインする必要があります。

ご注意

- プロバイダ契約を解除または変更した時は、必ず本機の接続設定と、パソコンのダイヤルアップネットワーク設定(ブロードバンドTA接続利用時)の両方を削除または再設定してください。
- 設定を始める前にLANボードやLANカードが正しく動作していることを確認してください。正しく動作していないと、設定が行えません。正しく動作していない場合は、先にボードやカードの問題を解決してから設定を行ってください。

1 [スタート]ボタンをクリックして、[コントロールパネル]をクリックする。

2 [ネットワークとインターネット接続]をクリックする。



3 [ネットワーク接続]をクリックする。



4 [ローカルエリア接続]のアイコンをクリックする。



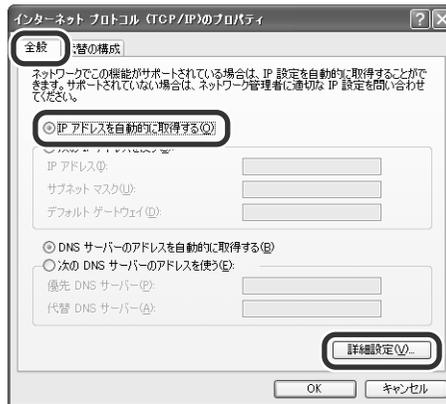
5 [この接続の設定を変更する]をクリックする。



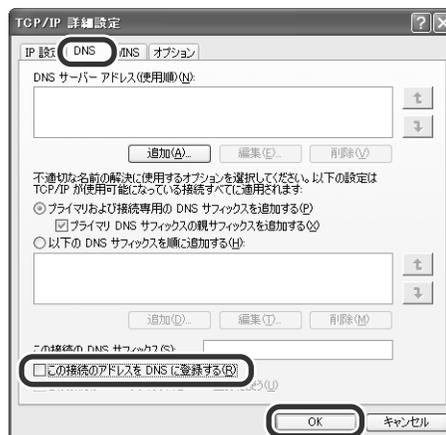
6 [インターネットプロトコル(TCP/IP)]を選んでから、[プロパティ]をクリックする。



- 7** [全般]タブをクリックして[IPアドレスを自動的に取得する]を選んだから、[詳細設定]をクリックする。



- 8** [DNS]タブをクリックしてから[この接続のアドレスをDNSに登録する]のチェックを外し、[OK]をクリックする。



[TCP/IP詳細設定]画面が閉じます。

- 9** [OK]を何回かクリックして、「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」画面と「ローカルエリア接続のプロパティ」画面を閉じる。

設定を変更した場合は、パソコンを再起動します。

MacOSの場合

MacOSでは、次の手順でネットワーク機能の設定を変更します。ネットワーク機能の設定の変更は、LANに接続されているすべてのパソコンで行ってください。

ご注意

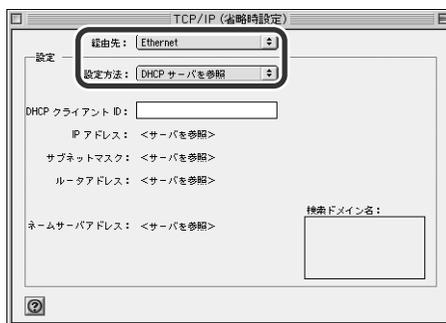
プロバイダ契約を解除または変更した時は、必ず本機の接続設定とパソコンのリモートアクセス設定(ブロードバンドTA接続利用時)の両方を削除または再設定してください。

Mac OS 8.x~9.xの場合

ここでは、[TCP/IP]コントロールパネルを例に説明します。

1 アップルメニューから[コントロールパネル] - [TCP/IP]を選び、以下のように設定する。

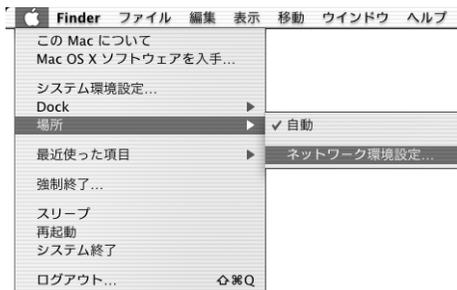
- 経路先: Ethernet
- 設定方法: DHCPサーバを参照



2 設定が終わったら、[ファイル]メニューから[終了]を選ぶ。

3 [保存する]をクリックする。

1 アップルメニューから[場所]－[ネットワーク環境設定]を選ぶ。



2 以下のように設定してから、[保存]をクリックする。

- 場所:自動
- 設定:内蔵Ethernet(標準のLANポート使用時のみ)
- 設定:DHCPサーバを参照



設定後は、[IPアドレス]がルータに設定したDHCPの割り当て範囲(工場出荷状態では192.168.0.2～192.168.0.191)になっていることを確認してください。

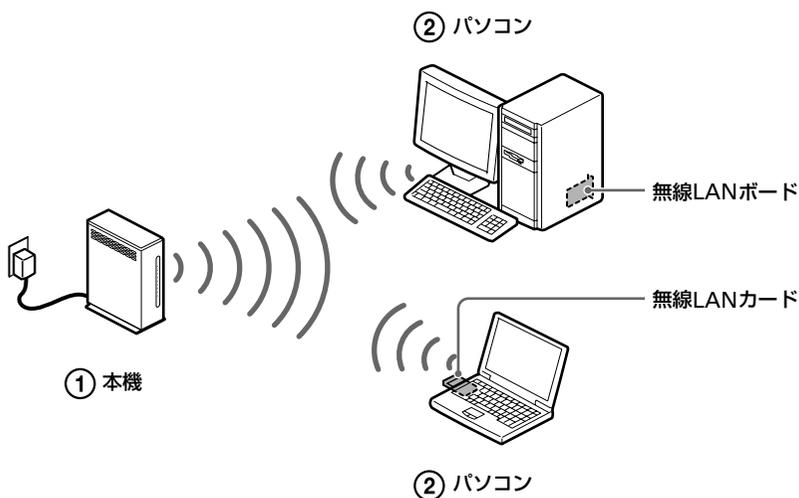
無線LANの設定を変更する

本機の無線LANは、LANのグループ名を表す「ESS-ID」と、使用する周波数を指定する「チャンネル」によって混信を防止しています。他の無線LANと混信したり、エラーが多い場合は、無線LANの設定を変更する必要があります。

また、無線LANのセキュリティを確保するために、本機は無線LANの通信を暗号化する「WEP」(64bitまたは128bitコードによる暗号化)と、接続できる機器をMACアドレスにより制限する「MACアドレスフィルタ」を装備しています。無線LANでデータをやり取りするには、これらの項目を正しく設定する必要があります。

無線LANの設定を変更するときは、下図中の番号順に行ってください

パソコンのみを無線LANで接続している場合は、本機の設定を変更後に各パソコンの無線LAN設定を変更していきます。



ご注意

- 本機の工場出荷状態では、無線LANによる本機へのアクセスが可能になっています。不正使用を防ぐために、暗号(WEP)を設定することを強くおすすめいたします。また、無線LANを使用しない場合は、無線モードをオフにしてください。
- ESS-IDとWEPの設定が正しくないと、無線LANでルータやパソコン間でデータをやり取りできません。無線アクセスポイントルータに設定した値を正確にメモして、必ず同じ値をすべての機器に登録してください。
- 無線LAN側でESS-IDとWEPの設定を変更している間は、一時的にルータやパソコンが接続できない状態になります。各ルータやパソコンの設定変更がすべて完了すれば、接続できる状態になります。

1 使用するESS-ID、チャンネル、WEPとその暗号キーを決める。

ESS-ID

32文字以内の半角英数字を選びます。工場出荷時は本機のLAN側のMACアドレス下6桁の16進数(アルファベットはすべて大文字)に設定されています。LANポートのMACアドレスは、本機底面に記載されています。

チャンネル

1~14チャンネルのうち、無線LANカードや無線LANボードで使用できるチャンネルの中から、他で使っているチャンネルと3つ以上離れたチャンネルを選びます。

例:1チャンネルと5チャンネル、3チャンネルと7チャンネルと11チャンネル

ただし、無線LANの近くで移動体識別用の構内無線局や、特定小電力無線局が運営されている場合は、その無線局と干渉しないチャンネルを選んでください。

WEP

本機は64bitおよび128bitコードに対応しています。お使いの無線LANカード(ボードまたはアダプタ)で利用できるWEPの種類に合わせて、以下のようにWEPキーを決めます。

- **64bitコードのWEP:**5文字の半角英数字、または「0x」+10桁の16進数(例:「rtw65」、「0x12345abcde」)
- **128bitコードのWEP:**13文字の半角英数字、または「0x」+26桁の16進数

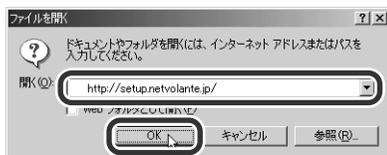
ご注意

- 無線LANカード(ボードまたはアダプタ)によっては、128bitコードに対応していないものもあります。この場合は、64bitコードでお使いください。
- 64bitコードと128bitコードのWEPを設定した機器を混在して、無線LANを構築することはできません。WEPを設定する場合は、無線LAN全体を64bitまたは128bitコードのいずれかに統一してください。

2 パソコンでWebブラウザを起動して、[ファイル]メニューから[開く]を選ぶ。

3 「http://setup.netvolante.jp/」と半角英字で入力してから、[OK]をクリックする。

本機のIPアドレス(工場出荷時は192.168.0.1)を半角英数字で入力して開くこともできます。



初めて開いたときは、「RTW65bかんたん設定ページへ行く前に」が表示されます。2度目以降は、手順5へ進んでください。

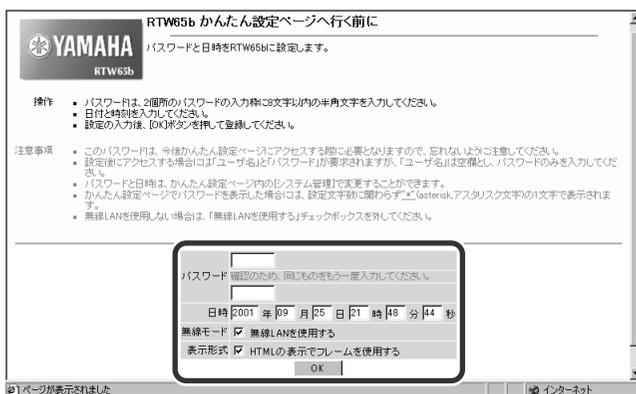
💡ヒント

「RTW65bかんたん設定ページへ行く前に」が表示されないときは、ルータとパソコンの接続や、パソコンの設定を確認してください。

4 ルータの管理パスワードを半角英数字で2つの入力欄に入力し、日時を設定してから[OK]をクリックして、確認のメッセージに従って操作する。

⚠️注意

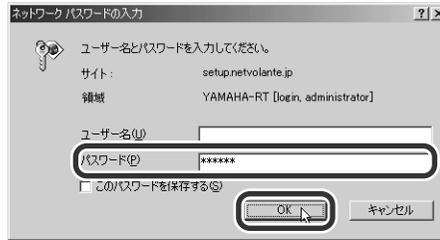
[無線LANを使用する]にチェックが付いていることを確認してください。チェックが付いていないと、無線LANで接続できません。



💡ヒント

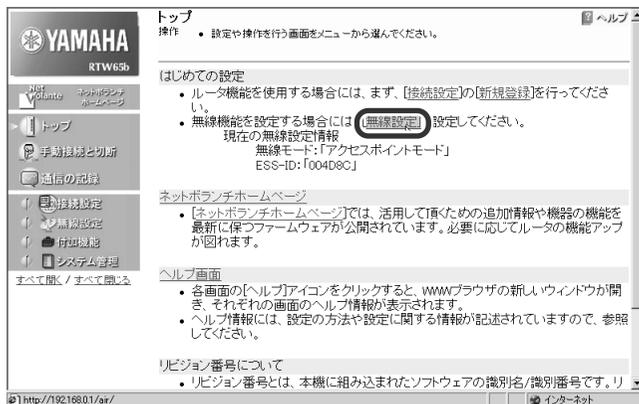
ルータの管理パスワードは、本機の設定を変えるときや情報を見るときに必要になります。プロバイダのパスワードとは別に、大切に管理してください。

5 [パスワード]入力欄にルータの管理パスワードを半角英数字で入力してから、[OK]をクリックする。

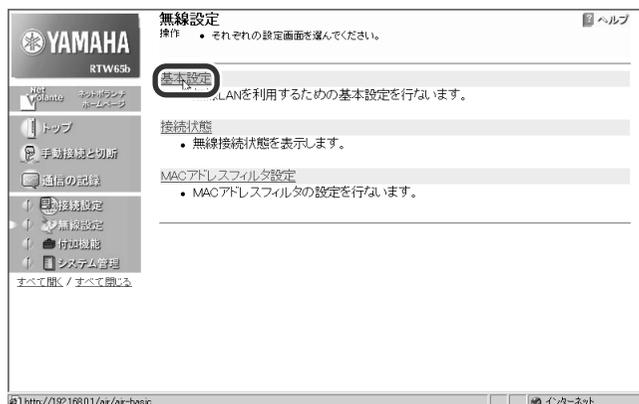


「トップ」画面が表示されます。

6 [無線設定]をクリックする。

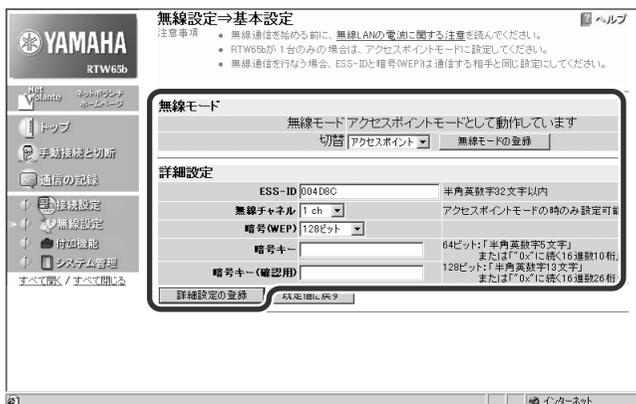


7 [基本設定]をクリックする。



8 以下の設定を行ってから、[詳細設定の登録]をクリックする。

- 無線モード:[アクセスポイント]を選ぶ。
- ESS-ID:ESS-IDを入力する。
- 無線チャンネル:使用するチャンネルを選ぶ。
- 暗号(WEP):お使いの無線カード(ボードまたはアダプタ)に合わせて [64ビット]または[128ビット]を選んでから、WEPのキーを入力する。



メッセージに従ってボタンをクリックすると、設定が変更されます。設定変更後は、一時的に各パソコンと無線接続できなくなります。

ヒント

設定した暗号キーの文字数を隠すため、ページを再表示したときは、暗号キー欄が「*」一つだけの表示となります。

9 パソコンの無線LANカードに付属する設定ソフトウェアで、本機に設定したものと同一ESS-ID、チャンネル(自動設定の場合は不要)、WEPとその暗号キーをパソコンに設定する。

設定ソフトウェアの操作については、ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

10 パソコンから本機の「かんたん設定ページ」を開く。

開ければ、設定完了です。

他のパソコンの設定も同様に変更してください。

インターネット接続設定をする前に

インターネット接続設定は、パソコンのWebブラウザを使って本機の「かんたん設定ページ」画面にアクセスして行います。接続方法によって操作が異なりますので、お使いの接続方法に合わせた説明をご覧ください。

ご注意

操作をはじめる前に、お使いのパソコンにインストールされているWebブラウザのバージョンを、もう1度ご確認ください(28ページ)。

CATVで接続する

「CATV/ADSL接続用に設定する」(52ページ)をご覧ください。

ADSL(PPPoE方式以外)で接続する

「CATV/ADSL接続用に設定する」(52ページ)をご覧ください。

フレッツ・ADSLで接続する

「フレッツ・ADSL接続用に設定する」(58ページ)をご覧ください。

📶 USBポート経由でブロードバンドTA接続する場合は

別冊の「活用マニュアル」の「USB接続機能を活用する」(28ページ)をご覧ください。

📶 PPPoE方式ネットワーク型ADSLで接続する場合は

別冊の「活用マニュアル」の「PPPoEネットワーク型ADSLで接続する」(79ページ)をご覧ください。

CATV/ADSL接続用に設定する

CATVや、PPPoE方式以外のADSLでインターネットに接続する場合は、本機の「かんたん設定ページ」画面で、CATV/ADSLの接続先を設定します。PPPoE方式を使用したADSL接続の場合は、「フレッツ・ADSL接続用に設定する」(58ページ)をご覧ください。

ご注意

- プロバイダ契約を解除または変更した時は、必ず本機の接続設定と、パソコンのダイヤルアップネットワーク設定(ブロードバンドTA接続利用時)の両方を削除または再設定してください。
- インターネットへ常時接続する場合は、インターネット側から不正なアクセスや攻撃を受ける危険性が高くなります。セキュリティには十分ご注意ください。詳しくは別冊の「活用マニュアル」の「第6章 ファイアウォール機能を使う」(60ページ)をご覧ください。

ここではWindows MeとInternet Explorer 5.5の画面を例に説明します。他の環境の場合は画面表示が多少異なりますが、操作は同じです。RTW65bパソコンセットアップで引き続き設定する場合は、手順4から始めてください。

1 本機の電源が入っていることを確認する。

2 パソコンでWebブラウザを起動して、[ファイル]メニューから[開く]を選ぶ。

3 「http://setup.netvolante.jp/」と半角英字で入力してから、[OK]をクリックする。

本機のIPアドレス(工場出荷時は192.168.0.1)を半角英数字で入力して開くこともできます。



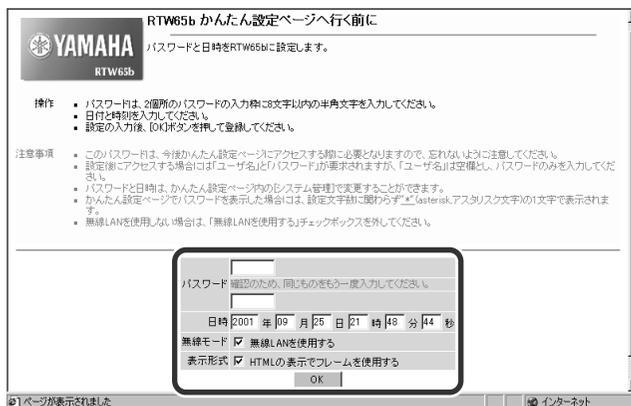
初めて開いたときは、「RTW65bかんたん設定ページへ行く前に」画面が表示されます。2度目以降は、手順5へ進んでください。

ヒント

「RTW65bかんたん設定ページへ行く前に」画面が表示されないときは、ルータとパソコンの接続や、パソコンの設定を確認してください。

4 ルータの管理パスワードを2つの入力欄に入力し、日時を設定してから[OK]をクリックして、確認のメッセージに従って操作する。

管理パスワードは半角英数字8文字までで、好みに合わせて決めてください(例:rtw65b00、yamaha65など)。



ご注意

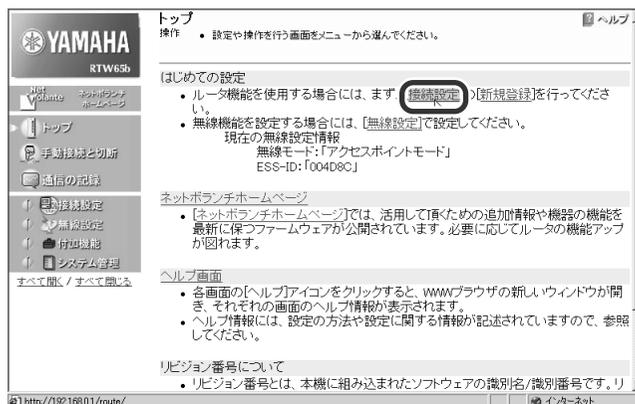
- ルータの管理パスワードは、本機の設定を変えるときや情報を見るときに必要になります。プロバイダのパスワードとは別に、大切に管理してください。
- 無線LANを使用しないときは、不正アクセスを防ぐために[無線LANを使用する]のチェックを外してください。

5 [パスワード]欄にルータの管理パスワードを入力してから、[OK]をクリックする。

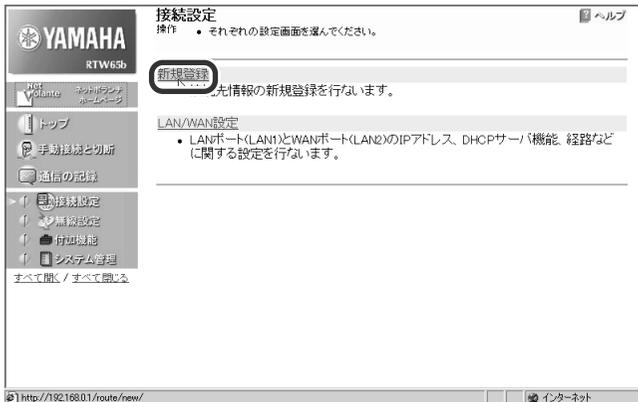


「トップ」画面が表示されます。

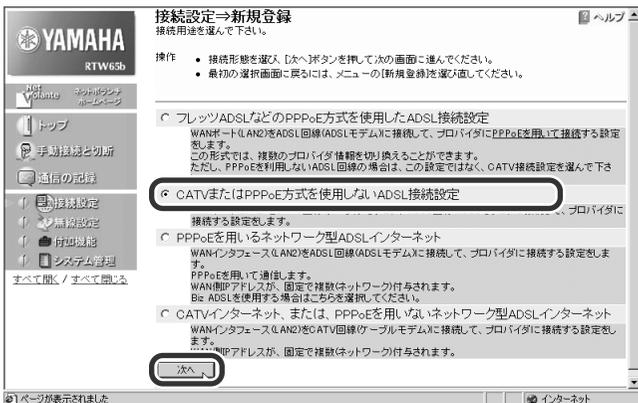
6 [接続設定]をクリックする。



7 [新規登録]をクリックする。

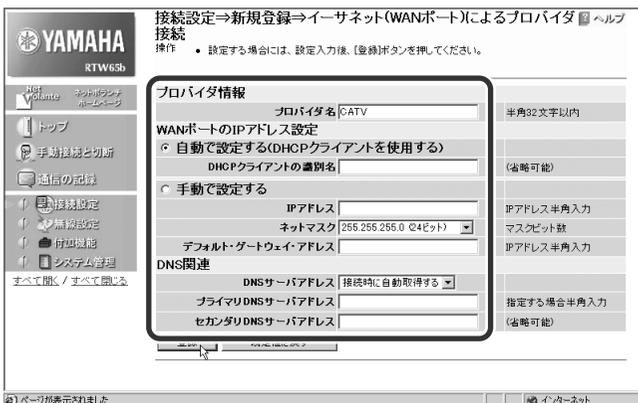


8 [CATVまたはPPPoE方式を使用しないADSL接続設定]を選んでから、[次へ]をクリックする。



設定入力画面が表示されます。

9 プロバイダまたはCATV業者の設定情報書類を見ながら、プロバイダ名と各設定項目を入力する。



プロバイダ名 接続先がわかるような名前を入力します。

WANポートのIPアドレス設定

WANポートに割り当てる、IPアドレスの取得方法を選びます。

- **自動で設定する**: 自動取得する場合には選びます。
 - **手動で設定する**: プロバイダ/CATV業者から、IPアドレスが指定されている場合に選びます。
-

IPアドレスの指定 IPアドレスがプロバイダ/CATV業者から指定されている場合に入力します。

ネットマスク ネットマスクがプロバイダ/CATV業者から指定されている場合に入力します。

デフォルトゲートウェイアドレス

デフォルトゲートウェイがプロバイダ/CATV業者から指定されている場合に、入力します。

DNSサーバアドレス

DNSサーバアドレスの取得方法を選びます。

- **IPアドレスを指定する**: プロバイダ/CATV業者からDNSサーバアドレスが指定されている場合に選びます。
 - **接続時に自動取得する**: プロバイダ/CATV業者からDNSサーバアドレスが指定されていない場合や、自動取得となっている場合に選びます。
-

プライマリDNSサーバアドレス

DNSサーバアドレスが指定されている場合に入力します。

セカンダリDNSサーバアドレス

DNSサーバアドレスが2つ指定されている場合に入力します(省略できます)。

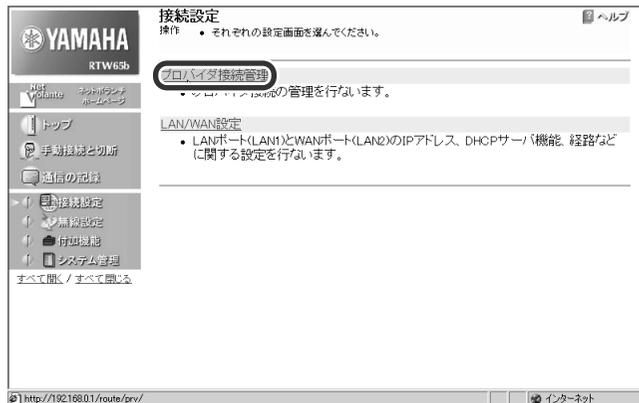
ご注意

本機の工場出荷状態では、LAN側のネットワークアドレスとして「192.168.0.0/24」を使用します。WAN側とLAN側のネットワークアドレスが同じ場合は、本機のIPアドレスを変更して、LAN側のネットワークアドレスを変更してください。詳しくは別冊の「活用マニュアル」の「本機のIPアドレスを変更する」(77ページ)をご覧ください。

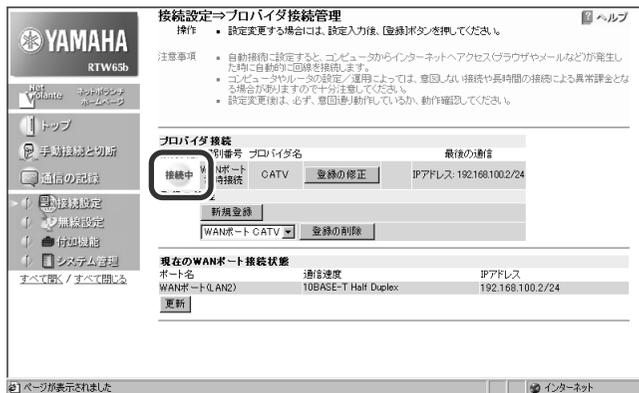
10 入力が終わったら、[登録]をクリックする。

メッセージに従ってボタンをクリックすると、接続先が登録されます。

11 [プロバイダ接続管理] をクリックする。



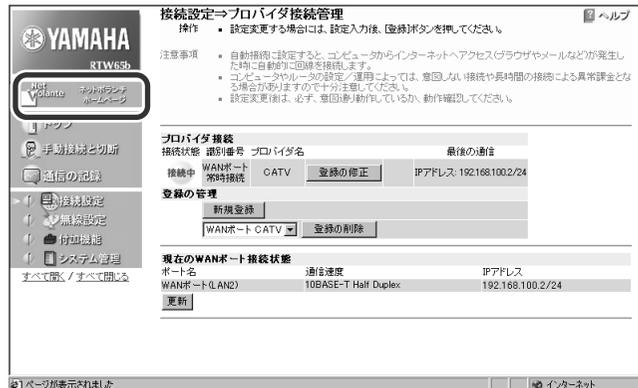
12 左側に「接続中」が表示されていることを確認する。



接続できない場合は

手順9で設定した、[WANポートのIPアドレス設定] (55ページ)の[IPアドレス]や[ネットマスク]の設定が間違っている可能性があります。[登録の修正]をクリックして、プロバイダの設定情報書類を見直しながら設定内容を確認してください。

13 ページ左上の[ネットボランチホームページ]をクリックする。



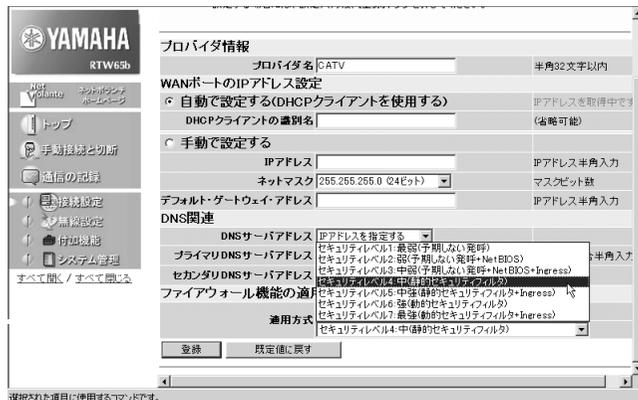
NetVolanteのホームページが表示されれば、ルータの設定は完了です。

表示されない場合は

DNSサーバアドレスの設定が間違っている可能性があります。

[登録の修正]をクリックして、設定内容をもう1度確認してください。

また、本機のファイアウォール機能によって接続が制限されている場合もありますので、[登録の修正]をクリックして、「ファイアウォール機能の適用」欄でセキュリティレベルを変更してください。



フレッツ・ADSL接続用に設定する

フレッツ・ADSLなど、PPPoE方式でインターネットに接続する場合は、本機の「かんたん設定ページ」画面で、フレッツ・ADSLの接続先を設定します。

ご注意

- プロバイダ契約を解除または変更した時は、必ず本機の接続設定と、パソコンのダイヤルアップネットワーク設定(ブロードバンドTA接続利用時)の両方を削除または再設定してください。
- インターネットへ常時接続する場合は、インターネット側から不正なアクセスや攻撃を受ける危険性が高くなります。セキュリティには十分ご注意ください。詳しくは別冊の「活用マニュアル」の「第6章 ファイアウォール機能を使う」(60ページ)をご覧ください。

ここではWindows MeとInternet Explorer 5.5の画面を例に説明します。他の環境の場合は画面表示が多少異なりますが、操作は同じです。RTW65bパソコンセットアップで引き続き設定する場合は、手順4から始めてください。

1 本機の電源が入っていることを確認する。

2 パソコンでWebブラウザを起動して、[ファイル]メニューから[開く]を選ぶ。

3 「http://setup.netvolante.jp/」と半角英字で入力してから、[OK]をクリックする。

本機のIPアドレス(工場出荷時は192.168.0.1)を半角英数字で入力して開くこともできます。

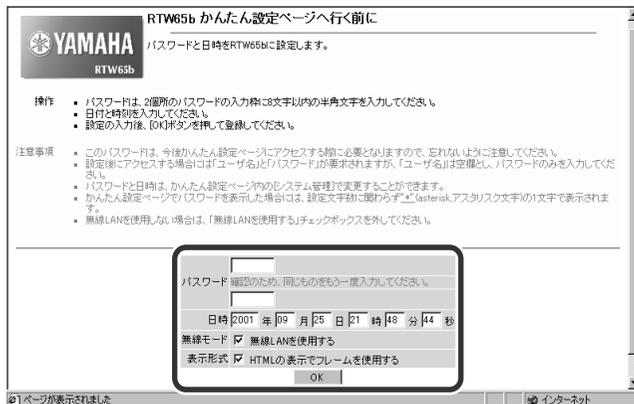


初めて開いたときは、「RTW65bかんたん設定ページへ行く前に」画面が表示されます。2度目以降は、手順5へ進んでください。

ヒント

「RTW65bかんたん設定ページへ行く前に」画面が表示されないときは、ルータとパソコンの接続や、パソコンの設定を確認してください。

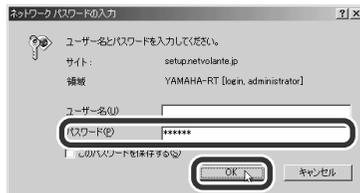
- 4 ルータの管理パスワードを2つの入力欄に入力し、日時を指定してから[OK]をクリックして、確認のメッセージに従って操作する。**
管理パスワードは半角英数字8文字までで、好みに合わせて決めてください(例:rtw65b00、yamaha65など)。



ご注意

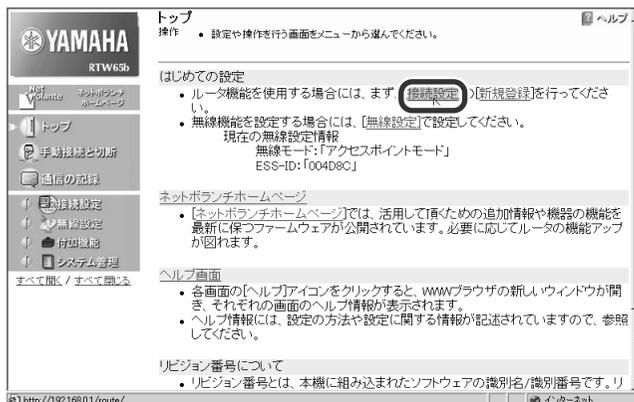
- ルータの管理パスワードは、本機の設定を変えるときや情報を見るときに必要になります。プロバイダのパスワードとは別に、大切に管理してください。
- 無線LANを使用しないときは、不正アクセスを防ぐために[無線LANを使用する]のチェックを外してください。

- 5 [パスワード]欄にルータの管理パスワードを入力してから、[OK]をクリックする。**

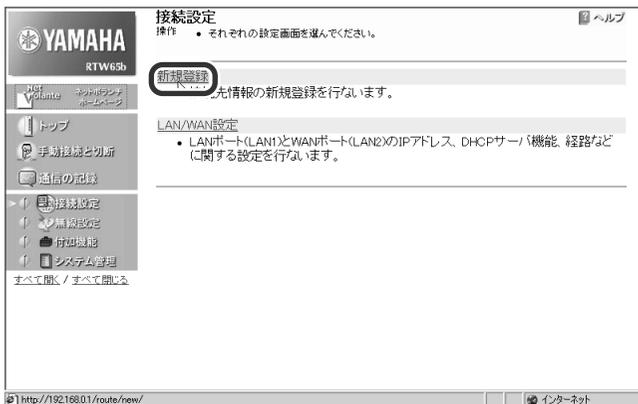


「トップ」画面が表示されます。

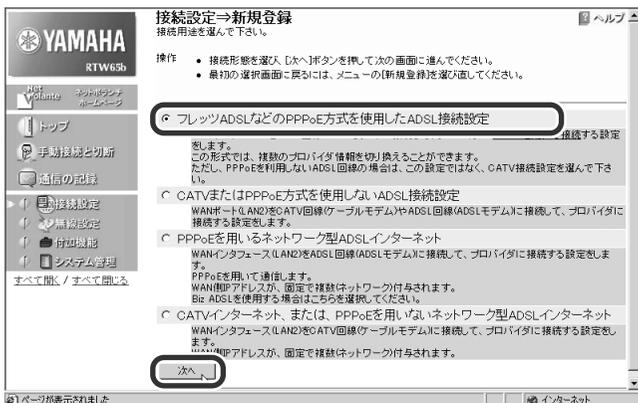
- 6 [接続設定]をクリックする。**



7 [新規登録]をクリックする。

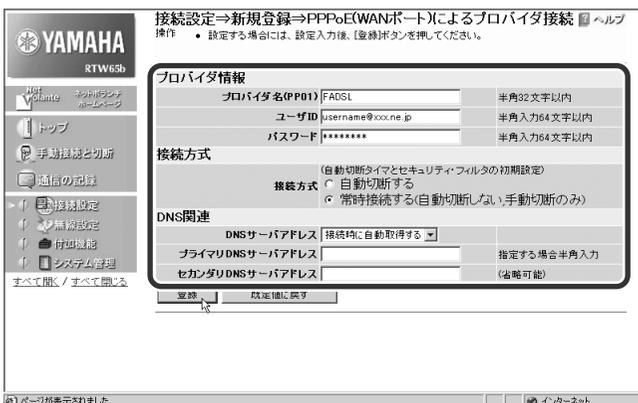


8 [フレッツ・ADSLなどのPPPoEを使用したADSL接続設定]を選んだから、[次へ]をクリックする。



設定入力画面が表示されます。

9 プロバイダの設定情報書類を見ながら、プロバイダ名と各設定項目を入力する。



プロバイダ名	接続先がわかるような名前を入力します。
ユーザID	<p>プロバイダから指定されたフレッツ・ADSL接続用のユーザIDを入力します。必ず書類を確認して、間違いのないように入力してください。</p> <p>例) username@provider.ne.jp username@aaa.provider.ne.jp (サブドメインが付加される場合)</p>
パスワード	指定されたパスワードまたは自分で変更したパスワードを入力します。半角英数字で大文字小文字も正確に入力してください。
接続方式	<p>フレッツ・ADSLの使いかたを選びます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 自動切断する: 必要に応じて接続したい場合を選びます。 • 常時接続する: 常に接続したままにしたい場合を選びます。
DNSサーバアドレス	<p>DNSサーバアドレスの取得方法を選びます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • IPアドレスを指定する: プロバイダからDNSサーバアドレスが指定されている場合を選びます。 • 接続時に自動取得する: プロバイダからDNSサーバアドレスが指定されていない場合や、自動取得となっている場合を選びます。
プライマリDNSサーバアドレス	DNSサーバアドレスが指定されている場合に入力します。
セカンダリDNSサーバアドレス	DNSサーバアドレスが2つ指定されている場合に入力します(省略できます)。

10 入力が終わったら、[登録]をクリックする。

メッセージに従ってボタンをクリックすると、接続先が登録されます。

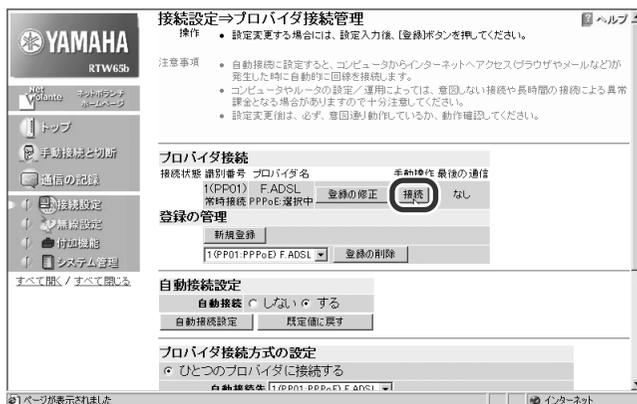
ヒント

設定したパスワードの文字数を隠すため、ページを再表示したときは、パスワード欄が「*」一つだけの表示となります。

11 [プロバイダ接続管理] をクリックする。



12 登録したプロバイダの[接続]をクリックして、手動接続してみる。

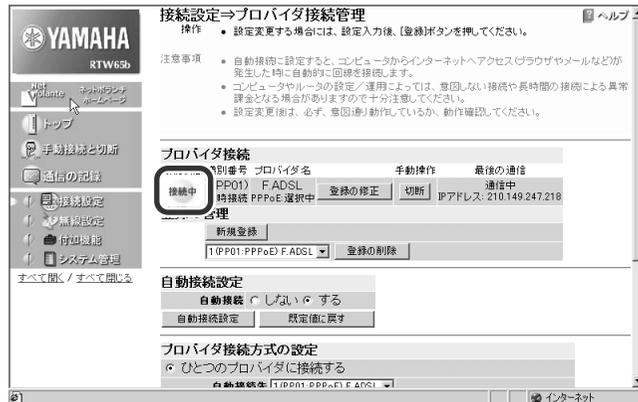


本機のWAN LINKランプが点灯して左側に「接続中」が表示されたら、正しく設定されています。

接続できない場合は

ユーザIDやパスワードの設定が間違っている可能性があります。
[登録の修正]をクリックして、プロバイダの設定情報書類を見直しながら設定内容を確認したり、パスワードの大文字／小文字や全角／半角に注意して入力し直してから、もう1度手動接続を行ってください。

13 ページ左上の[ネットボランチホームページ]をクリックする。



NetVolanteのホームページが表示されます。

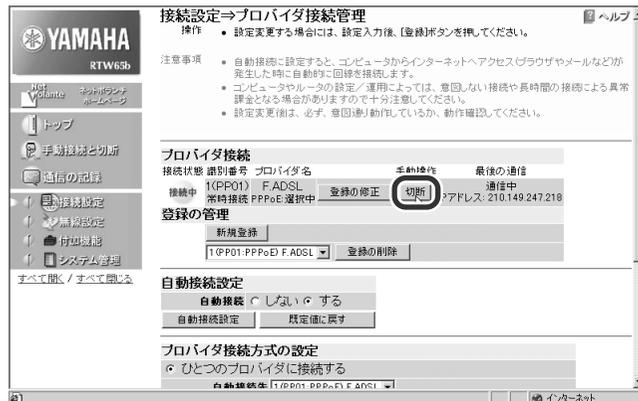
表示されない場合は

DNSサーバアドレスの設定が間違っている可能性があります。

[切断]をクリックしていったん接続を切断してから、[登録の修正]をクリックして、設定内容をもう1度確認してください。

14 接続できることを確認できたら、Webブラウザの[戻る]をクリックして「プロバイダ接続管理」画面に戻る。

接続方式で[自動切断する]を選んでいる場合は、登録したプロバイダの[切断]をクリックして手動切断してください。



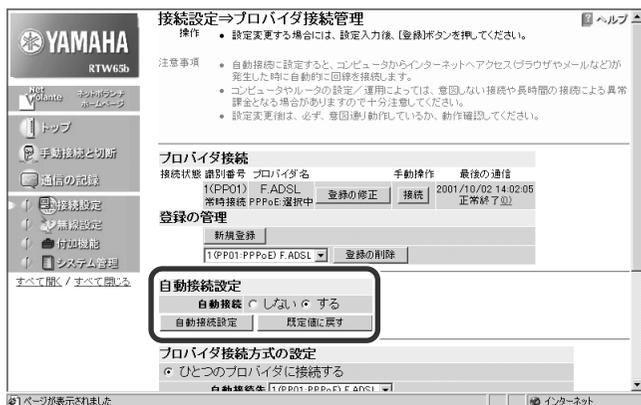
接続方法で[自動切断する]を設定した場合は

手動切断しなくても、一定時間インターネットへアクセスしないと、自動的にプロバイダとの接続が切れます。

ヒント

フレッツ・ADSLは定額料金制なので、発信制限は自動設定されません。

15 [自動接続設定]が[する]になっていて、[自動接続先]に登録したプロバイダが選ばれていることを確認する。

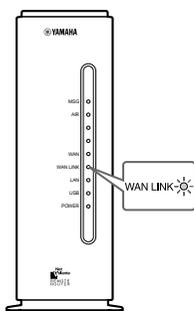


これで、ルータのフレッツ・ADSL接続設定は完了です。

インターネット接続を開始／終了する

インターネット接続を開始する（PPPoEの場合のみ）

本機はLAN内の情報を監視し、インターネットへのアクセスが必要になると、自動的にインターネットへ接続します。通常は、パソコンでホームページを閲覧したり、新着メールを確認するだけで、自動的に接続／切断できます。インターネットへ接続されているときは、WAN LINKランプが点灯または点滅します。



☀️ ヒント

PPPoE以外またはCATVで接続している場合は、WAN LINKランプは常に点灯／点滅します。

インターネット接続を終了する（PPPoEの場合のみ）

本機はインターネットへの接続を自動的に切断します。本機はLAN内から一定時間インターネットへのアクセスがないと、自動切断することもできます。切断条件の設定は、「かんたん設定ページ」で変更できます。切断されると、WAN LINKランプが消灯します。

☀️ ヒント

PPPoE以外またはCATVで接続している場合は、WAN LINKランプは常に点灯／点滅します。

本機の動作状態を確認する

本機の動作状態は、ランプやユーティリティソフトウェア、かんたん設定ページで確認できます。

ランプで確認する

本機前面のランプは、次の状態を示します。

● :点灯、● (点滅) :点滅、● (ゆっくり点滅) :ゆっくり点滅、○ :消灯

MSG	● (点滅)	プロバイダのメールサーバにメールが到着しています (かんたん設定ページで、メールサーバを登録する必要があります)。
AIR	● (点滅) ● (ゆっくり点滅) ○	無線LANが正常な状態です。 無線LANにデータが流れています。 無線LANが使用できない状態です。
WAN	● (点滅) ● (ゆっくり点滅) ○	WANが使用可能な状態です。 WANポートにデータが流れています。 WANが使用不可能な状態です。
WAN LINK	● (点滅) ○	WANポートでインターネットに接続しています。 WANポートでインターネットに接続していません。
LAN	● (点滅) ● (ゆっくり点滅) ○	LANが使用可能な状態です。 LANにデータが流れています。 LANが使用不可能な状態です。
USB	● (点滅) ● (点滅) ● (ゆっくり点滅) ○	USBが使用可能な状態です。 USBにデータが流れています。 USBデバイスとして正しく認識されていない状態、またはサスペンド状態です。 パソコンやUSBハブの電源が切れているか、USBケーブルが抜けています。
POWER	● (点滅) ○	電源が入っています。 電源が切れているか、または停電しています。

「かんたん設定ページ」で確認する

「かんたん設定ページ」で、より詳しい状態や通信記録を確認できます。ここでは、Windows MeでInternet Explorer 5.5を使った例で説明します。

「かんたん設定ページ」を開く

1 パソコンでWebブラウザを起動して、[ファイル]メニューから[開く]を選ぶ。

2 「http://setup.netvolante.jp/」と半角英字で入力してから、[OK]をクリックする。

本機のIPアドレス(工場出荷時は192.168.0.1)を半角英数字で入力して開くこともできます。

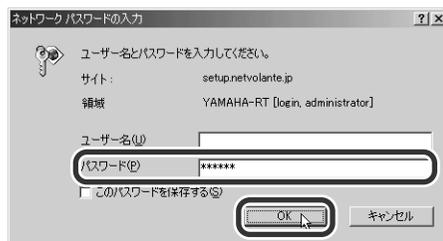


「ネットワーク パスワードの入力」画面が表示されます。

※ヒント

Windows 95/98/Me/2000/XPでユーティリティソフトをインストール済みの場合は、[スタート]ボタンをクリックして、[プログラム]－[RTW65bユーティリティ]－[RTW65bかんたん設定ページ]をクリックして、「かんたん設定ページ」を表示できます。

3 ルータの管理パスワードまたはログインパスワードを入力してから、[OK]をクリックする。



「トップ」画面が表示されます。

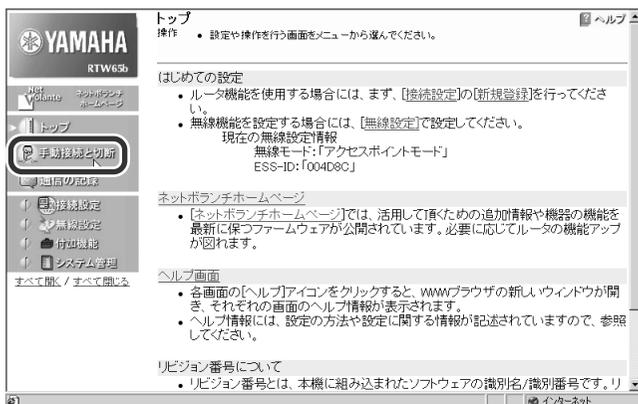
※ヒント

接続時のエラーメッセージなどの警告メッセージがある場合は、「トップ」画面に表示されます。

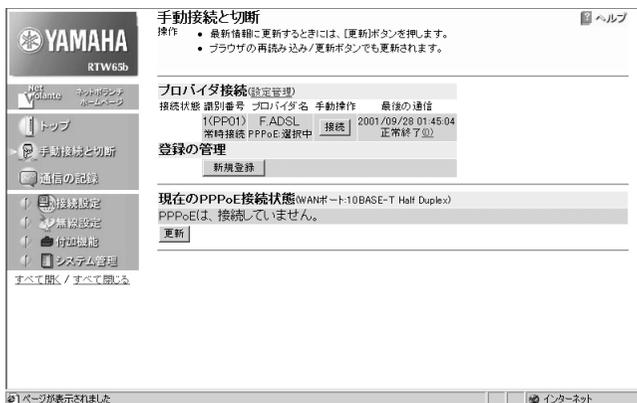
→本機の動作状態を確認する

インターネット接続状態を見る

[手動接続と切断]をクリックする。



「手動接続と切断」画面には、現在の接続状態が表示されています。登録した接続先ごとに、手動接続／切断できます。



ブザーを鳴らす条件を設定する

本機にはブザーが内蔵されており、工場出荷状態ではPPPoEによりインターネットへ接続するときと、切断するときにはブザーが鳴るように設定されています。ブザー音は、「かんたん設定ページ」の「システム管理」画面で止めたり、鳴らしたりすることができます。

- 1 パソコンでWebブラウザを起動して、[ファイル]メニューから[開く]を選ぶ。

- 2 「http://setup.netvolante.jp/」と半角英字で入力してから、[OK]をクリックする。

本機のIPアドレス(工場出荷時は192.168.0.1)を半角英数字で入力して開くこともできます。

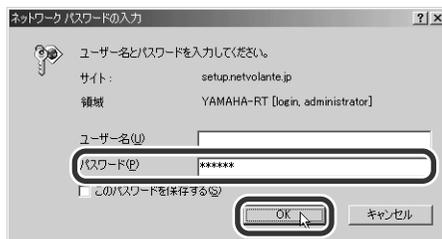


「ネットワーク パスワードの入力」画面が表示されます。

☀️ ヒント

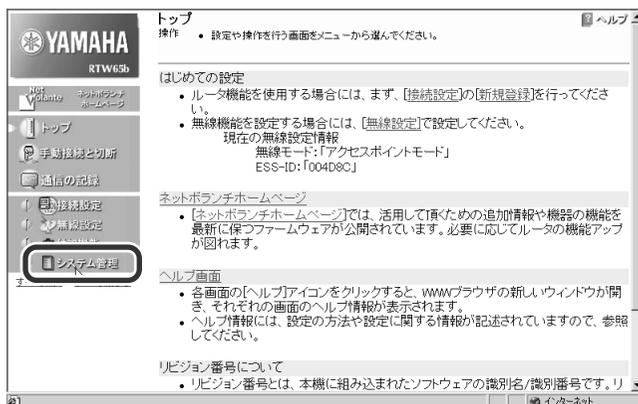
Windows 95/98/Me/2000/XPでユーティリティソフトをインストール済みの場合は、[スタート]ボタンをクリックして、[プログラム]－[RTW65bユーティリティ]－[RTW65bかんたん設定ページ]をクリックして、「かんたん設定ページ」を表示できます。

- 3 ルータの管理パスワードまたはログインパスワードを入力してから、[OK]をクリックする。



「トップ」画面が表示されます。

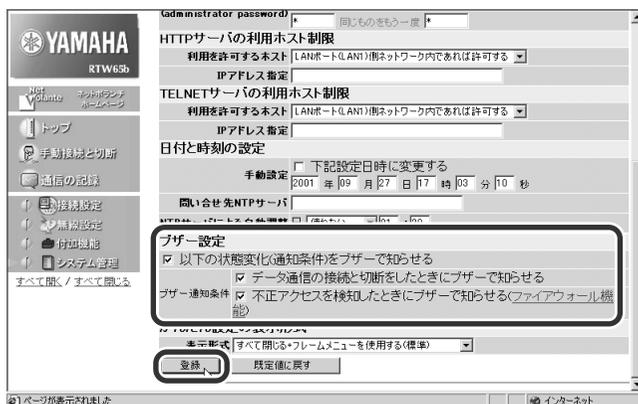
4 [システム管理]をクリックする。



5 [ルータ設定]をクリックする。



6 ブザー設定でブザー音の動作を設定してから、[登録]をクリックする。



設定できる条件については、次ページの表をご覧ください。

以下の状態変化(通知条件)をブザーで知らせる

止めたいときはチェックを外します。ブザーを鳴らしたいときはチェックを付けて、鳴らす条件を選びます。

-
- **データ通信の接続と切断をしたときにブザーで知らせる**:ルータ機能やブロードバンドTA機能で発信や切断するたびに、ブザーが鳴ります。
 - **不正アクセスを検知したときにブザーで知らせる(ファイアウォール機能)**:本機のファイアウォール機能を設定してある場合、不正アクセスを検知した時にブザーが鳴ります。
-

困ったときは

本機を使用中に問題が発生した場合は

別冊の「活用マニュアル」の「第8章 困ったときは」(86ページ)をご覧ください。

以下の問題を解決する方法が記載されています。

- 無線LANが繋がらない
- かんたん設定ページで設定できない
- インターネットに接続できない
- ブロードバンドTA機能で接続できない
- パスワードを忘れてしまったときは

本機の最新情報を入手するには

本機に関する最新情報は、インターネットのホームページで入手できます。設定に関する初歩的な情報からルータの専門的な情報まで、それぞれの目的別に用意していますので、十分ご活用ください。

- **NetVolanteシリーズのホームページ**:本機やNetVolanteシリーズに関する最新情報をご覧いただけます。

<http://NetVolante.jp/>

- **NetVolanteシリーズでお問い合わせの多い質問(FAQ)**:本機やNetVolanteシリーズに関するQ&Aをご覧いただけます。

<http://www.rtpro.yamaha.co.jp/RTW65b/FAQ/>

- **NetVolanteシリーズのリビジョンアップ情報**:本機やNetVolanteシリーズの最新ファームウェアに関する情報をご覧いただけます。

<http://www.rtpro.yamaha.co.jp/RTW65b/RevUpper.html>

- **RTシリーズのホームページ**:RTシリーズのルータに関する最新情報やルータの技術情報、高度な利用方法などをご覧いただけます。

<http://www.rtpro.yamaha.co.jp/>

ご質問／お問い合わせは

本機に関する技術的なご質問やお問い合わせは、下記へご連絡ください。

RTW65b専用サービス窓口(ネットボランチコールセンター)

TEL: 03-5715-0350

(土日祝日を除く9時～12時、13時～17時)

電子メールでのお問い合わせ

- Webお問い合わせページ

<http://NetVolante.jp/>

- メールアドレス

support@netvolante.jp

ヤマハ株式会社

●ネットボランチコールセンター

RTW65b専用サービス窓口

TEL: 03-5715-0350

土日祝日を除く9時～12時、13時～17時

●電子メールでのお問い合わせ

Webお問い合わせページ: <http://NetVolante.jp/>

メールアドレス: support@netvolante.jp

V838470